

ニ於テ取調ヘ内務部長ニ差出スモノトス

第五條 工費豫定價格金五百圓以上ハ本廳、金五百圓未滿ハ各廳、土木係派出所ニ於テ入札廣告及契約ノ手續ヲナスモノトス

但時宜ニヨリ變更スルコトアルヘシ

第六條 工事請負並物件買賣貸借規則(以下單ニ規則ト云フ)第四條ノ入札廣告ハ第八號書式ニ據リ全則第三條ノ方法ニ從ヒ廣告ノ手續ヲナスモノトス

規則第三十條ノ期間ハ工事ノ種類ニヨリ五日間以内ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス

第七條 開札ノ場合ハ本廳ニアリテハ第二課長又ハ上席者及課員一名各廳ニアリテハ廳長及係員土木係派出所ニアリテハ主幹ノ外所員一名立會ノ上執行スルモノトス

前項開札ノ後落札ヲ確定セントスルトキハ本廳ニアリテハ内務部長ノ決裁ヲ受ケ各廳、土木係派出所ニアリテハ係員起案ノ上廳長主幹ノ決裁ヲ受クルモノトス

第八條 入札ノ効力ニ關シ疑議アルトキハ事由ヲ詳記シ入札書ヲ添ヘ伺出ツヘシ此場合ニ於テハ豫定價格以内ナル入札ノ保證金ハ入札ノ効力決定迄還附セサルモノトス

第九條 落札人確定シタルトキハ要立會ノ場合ハ口頭不要立會ノ場合ハ書面ヲ以テ其旨ヲ本人ニ通知スルモノトス

前項立會ノ場合ハ通知ト同時ニ便宜關係書類ノ一部ニ其旨ヲ記載シ落札人ヲシテ捺印セシムヘシ

第十條 工事執行規程第七條但書ニヨリ最低制限金額ヲ設クルノ必要アルハハ經伺ノ上之ヲ定メ最低制限アル旨ヲ廣告スルモノトス但最低制限金額ハ開札後ト雖モ告示セズ

第十一條 工事執行規程第十條但書ニヨリ入札又ハ契約保證金ヲ免除スル場合ハ其都度經伺

スルモノトス

第十二條 規程第三十一條第一項ニ於ケル通知ノ場合ハ第九條ニ準ス

第十三條 豫定價格金五百圓以上ハ規則第三十一條第二號書式ノ請負契約書、金五百圓未滿ハ全第四號書式ノ請負請書ニ據ルモノトス但一廉工事費金拾圓未滿ナルトキハ内譯書ノ紙末ニ第十二號書式ノ請書文ヲ記入セシメ契約書ニ代用スル事ヲ得

第十四條 規則第二十八條第一項第二號ノ證明書ハ直接技術ヲ修得セシメ又ハ直接工事ヲ經驗セシメタル學校、學士、博士若クハ官公署ノ證明書ニ限ルモノトス

土木係派出所ニ於テ執行スル工事ニシテ規則第三十三條第二項ノ工事監督員ノ氏名ハ主幹ニ於テ土木工手ノ内ヨリ指定シ契約濟報告ノ際第二課並ニ請負人(若クハ工事執行人)ニ通知スヘシ主幹自ラ監督スル場合モ亦同シ

第十五條 本廳ニ於テ開札ヲ爲ス工事ニシテ規則第三十三條第二項ノ工事監督員ノ氏名ハ土木係派出所主幹ヲ經由シ請負人ニ通知シ派出所員ハ右通知ニヨリ工事ノ監督ヲ命セラレタルモノトス

第十六條 土木係派出所ニ於テ取扱タル入札廣告按、入札書ノ全部及豫定價格書ハ契約濟報告ト共ニ本廳ニ差出スヘシ

第十七條 規則第二十四條ニヨリ檢査濟材料ニ對シ工費金ノ内渡ヲナストキハ調書ヲ作り且現品ニハ一々相當ノ符號ヲ明記スル事ヲ要ス

工費金五百圓以上ノ工事ハ工費請求ノ都度出來形已未濟調書ヲ作り本廳ニ差出シ許可ヲ得テ拂フモノトス

第十八條 工費金請求書ハ第九號書式ニ據リ調製セシメ科目及竣功又ハ出來形歩合ヲ朱書シ

請負工費計算簿ト請求書トニ割印ヲナシ支拂ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

第十九條 工費金又ハ保證金ニ對シ假差押ノ命令ヲ受ケタルトキハ其旨速ニ申報スヘシ

第二十條 工費中設計模樣替又ハ増工事ヲ要スルトキ之ヲ木工事請負人ニ請負ハシムルヲ便益ナリト認ムルトキハ更ニ設計書ヲ作り請負人ニ示シ豫定價格以內ニ於テ見積内譯書ヲ差出サシメ相當ト認ムルトキハ設計書ト共ニ進達スヘシ但模樣替又ハ増工事ノ重大ナル場合ハ豫メ意見ヲ具シ指揮ヲ受クヘシ

第二十一條 前條設計書進達ノトキハ説明書、請負金増減等ヲ詳カニシタル調書ヲ差出スヘシ

第二十二條 工事模樣替又ハ増工事決定ノ上ハ請負契約書ヲ以テ契約セルモノハ契約變更書ヲ作り交換シ請負請書ニ依ルモノハ第十號(一)(二)書式(一)、(二)ニ據リ請書ヲ徴スルモノトス

第二十三條 請負金額貳百圓未満ノ工事ハ土木係派出所主幹ニ於テ其出來形検査ヲナシ竣功届ト共ニ検査済ト申書ヲ添付進達スヘシ但特種ノ工事ニシテ施行通達ノ際出來形検査ヲ主幹ニ命セサル旨ヲ示シタルモノハ此限リニアラス

第二十四條 規則第四十八條ニ依リ處分ヲナシタルトキハ其年月日違反、事項住所氏名ヲ左ノ各所間相互通報スルモノトス
内務部第二課、郡役所、警察署、分署、縣立學校、土木係派出所、農事講習所、農事試驗場

第二十五條 土木係派出所ニ於テ通常施行シ得ヘキ小破修繕費ハ直營又ハ請負共一廉工費金五圓以內トシ一切私費繰替ヲナサス請求書ニ科目ヲ記入シ及與書ヲナシ郡長(宮崎郡ノ工

費ハ内務部第五課ニ)送付スルモノトス

第二十六條 工事終了スルハ十日以內ニ精算書ヲ進達スヘシ但小破修繕費精算書ハ一ヶ月分取纏メ翌月五日迄ニ進達スヘシ

第一號書様式

貳錢

家屋移轉承諾書

何地ヨリ何地ニ通スル國縣里道更正ニ付私共所有ノ家屋右更正路線ニ當リ移轉ヲ要シ候場合ハ工事御着手ノ節建坪等調査ノ上相當ノ料金を以テ無異議移轉致スヘシ依テ承諾書差上置候也

明治 年 月 日

住所

持主 氏 名 印

(以下持主連署)

(地元町村長與書)

知事 宛

第二號書式

貳錢

地所賣上承諾書

何所ヨリ何所ニ通スル國縣里道更正ニ付私共所有ノ地所右更正路線ニ當リ道路敷ヲ要シ候

場合ハ工事御着手ノ節其潰地反別調査ノ上相當ノ代價ヲ以テ異議ナク賣上致スヘク依テ承
諾書差下置候事

明治 年 月 日

住所

地主 氏 名 印
(以下地主連署)

(地元町村長與書)

知事宛

第三號書式

相當
印紙

請書

今般何々ノ爲メ道敷潰地ニ相成候ニ付テハ左記地所ノ内明治 年 月 日ヲ以テ地所引渡
濟トシ爾後何時工事御着手相成候共故障無之尤モ代金ノ儀ハ分筆手續完了登記濟ノ上御下
渡相成度請書差出候也

明治 年 月 日

住所

地主 氏 名 印
(以下連名)

知事宛

郡町村大字何字何

何番田(畑)反別何程ノ内

一潰地反別何程

持主 氏 名 印

此賣上代金何程 但一反ニ付金何程

何々

一潰地何々

持主 氏 名 印

(備考圖面添付ヲ要ス)

第四號書式

相當
印紙

賣渡證書

何郡何町村大字何字何

何番地(分筆後ノ地番)

一田(畑、宅地)反別何程(潰地反別ヲ記載ス)

此地價金何程賣上代金何程一反歩ニ付何程

全上

一山林(原野)反別何程(前全)

此地價金何程 右ニ同シ

賣上代金計何程

右道敷トシテ前記ノ代金ヲ以テ賣上候也

明治 年 月 日

住所

知事宛

右持主 氏名 印

備考

- 一、本證書ハ持主一人毎ニ差出サシムルモノニシテ數筆賣上ヲナスモノハ合筆記載ス
- 二、圖面添付ヲ要セス
- 三、本書ハ分筆濟ノ上直ニ徵スルモノトス

第五號書式

承諾書

何郡何町村大字何字何番地

(潰地反別)

一田(畑)反別何程 右地所今般道敷トシテ賣上證書差出候ニ付テハ直ニ所有權移轉ニ關スル登記相成候共異議無之候仍テ承諾書差出候也

明治 年 月 日

住所 持主 氏名 印

備考 知事宛

第四號書式ノ通り(賣渡證書式)

第六號書式

印紙

承諾書

土 木

那町村大字何字何番地

地主 何 某

一田(畑)何程

右ハ明治 年 月 日何區裁判所又ハ何登記所登記第 號ヲ以テ地主何某ヨリ何某、地上權又ハ永小作權、地役權、質權、抵當權、賃借權)設定ノ處今般何々ノ爲メ道敷潰地ト相成リ宮崎縣ニ賣上ニ付テハ本日ヲ以テ義務解除ノ義務何々權者何某ニ於テ承諾致候ニ付此段連署承諾書差出候也

明治 年 月 日

住所

何權設定者地主

何 某 印

住所

何權者 何 某 印

知事宛

第七號書式

相當印紙

請書

何郡何町村大字何番地内

一居室 一棟 持主 何 某

此建坪 何程 但何葺二階造又ハ平屋 此移轉料金何程 壹坪ニ付金何程

何郡何町村大字何々番地内

一土藏 壹棟 持主 何 某

此建坪 何程 但何々

此移轉料金何程 壹坪ニ付金何程

(以下此例ニヨリ記載)

右ハ何處ヨリ何處ニ通スル國縣里道更正ニ付私所有前記ノ建物更正道ニ當リ移轉ヲ要シ候ニ付テハ工事御施行ノ際ハ前記脇書ノ移轉料ヲ以テ何時ニテモ工事ニ差支サル様移轉致スヘク尤モ料金ノ儀ハ移轉濟ノ上下渡相成リ候共異存無之仍テ圖面相添へ請書差出候也

明治 年 月 日

住所

持主 何 某 印

知事 宛

備考

一本書ハ持主毎ニ差出サシムルモノコシテ數棟移轉ノモノハ併記スルモノトス

一家屋ニ付所有權以外ノ權利設定シアル場合ハ第六號書式ノ承諾書ヲ添付スルモノトス

第八號書式

入札 廣告

縣土(營)第 號

何々道路線何郡何町村大字何字何地内

一道路更正(道路橋梁、暗渠修繕)(何々川、港灣等何々)

(何々建築)(修繕)工事

此竣功期限着手後何日間

此入札保證金何々

(保證金ヲ要セサルハハ省ク)

契約保證金ノ割合何々

右工事競争入札ニ付テ請負望ノ者ハ明治三十六年縣令第七號宮崎縣工事執行規程、明治三十六年縣令第十六號宮崎縣工事請負並物件賣買貸借規則並ニ左記ノ條項ヲ承認何所ニ備付アル設計書、仕様書、内譯書(圖面何々)及實地共篇ト取調ノ上來 月 日 時迄ニ全所ニ入札書差出ス可シ

明治 年 月 日

宮 崎 縣(縣廳、土木係派出所以外ノモノハ各其解名ヲ掲ク)

一開札場所 何々

一開札時刻 何月何日何時

一入札者開札場所ニ立會ノ要否

一落札確定通知後何日内内譯書差出ヲ要ス

一工事ニ關スル技術ヲ修得シ又ハ經驗アルコトヲ證明シタル學校、學士、博士若クハ官公署ノ證明書ヲ差出シ豫メ承認ヲ受クルコトヲ要セス(要スルモノハ省ク)

第九號書式

何年度 何費(款) 何費(項) 何費(目) 何何(節)

請 求 書

官 請負高金何程ノ内

印 一金何程

請 求 高

但何路線何郡町村地内何々修繕工事請負金

内 金何程 道路費

外 金何程 橋梁費

金何程 道路費又ハ橋梁費(明治何年月日請取濟)

右御渡相成度候也

住所

請負人 何 某 印

知事宛



右調査ス 但何步通成功

備考

一經常部ニアラサルモノハ道路橋梁費ノ區別ヲ要セス

一代理人ヨリ請求ズルモノハ其下渡金高ニ對スル請負人ノ委任狀ヲ添付セシム

第十號書式其ノ一(増額ノ場合)

相當 印紙 請書

請負高金何程

外 一金何程

請負増額高

但何道路線何郡何町村大字何地内何々工事別紙内譯書ノ通り模樣替(増工事)ニ付請負金増額高

右ハ私請負工事ノ内模樣替(増工事)ノ分前記ノ金額ヲ以テ請負致候就テハ巽キニ差上置候請負請書ノ事項ト共ニ相違ナク履行致スヘク依テ別紙内譯書相添ヘ保證人連署ヲ以テ請書差出候也

明治 年 月 日

住所

請負人 氏 名 印

住所

保證人 氏 名 印

知事宛

備考

一或ル工事ノ内譯ヲ省クヘキ分及新ニ増加シタル分トハ朱書及墨書ヲ以テ設計内譯書ノ式ニ依リ記載ス

第十號書式其ノ二(減額ノ場合)

相當 印紙 請書

請負高金何程

内

一金何程

請負金減額高

但何道路線何郡町村大字何地内何々工事別紙内譯書ノ通り模様替ニ付請負金減額高
右ハ私請負工事ノ内模様替ニ付前記ノ金額減却相成承諾致候依テ別紙内譯書相添保證人連署
請書差出候也

明治 年 月 日

住所

住所

請負人

氏

名

印

住所

氏

名

印

知事宛

備考

一或ル工事内譯ノ消滅スヘキ部分ヲ設計内譯書ノ式ニ依リ記載ス

第十一號書式

何々新築(増築)(改築)(移築)(移轉)(模様替)(修繕)仕様設計(出來形精算)書

(本家附屬屋並ニ門扉下水其他共一廉毎ニ仕様ヲ附シ入費金高等詳細記載スヘシ)

一何々壹棟(壹ヶ所)(和洋造)(西洋模造)(二階家)(平家)建

桁行何程
梁間何程(柱真ヨリ真迄ヲ云フ)

軒高何尺何寸(礎上ヨリ軒桁上迄ヲ云フ)

此建坪何程

但屋根方形造(切妻造)瓦葺(柿葺)(板葺等)

附

(庇又ハ連續シタル建物アラハ本家ノ如ク此所ニ記スヘシ)

計畫說明

一建築及ヒ修繕或ハ模様替等ヲ要スル理由ヲ記載シ其仕様ヲ詳細ニ記スヘシ

(假令ハ柱下地堅何尺堀取石入何人掛ニテ突堅メ礎石土室大引床方根太柱通貫梁棟柱根土居葺ノ有無瓦葺本)

棟何算隔棟何算ニ築キ何漆喰何塗軒先五何枚通棟階下何枚逆平中何間毎ニ何枚逆塗リ等明細ニ記載ス

但シ明細ノ圖面ニ模様替又ハ建繼修繕等ニ係ルモノハ一構内ノ全圖ヘ其着手スヘキク
所新舊色別或ハ掛紙等ヲナシ一目判明ナラシムヘシ)ヲ添付ス

種目	員數	長	巾末口	事	由	單價	代價
割栗石	立坪何坪			柱下地堅メ遣柱下一ヶ所何合遣			
切石又ハ丸石礎石	何個	何寸方	高何尺	本柱下又ハ庇シ柱下遣何々切仕上ケ			
切石又ハ何々石	長延何間	以長何尺上	巾何寸厚何寸	雨落土留石又ハ何々土留石又ハ何々遣			
何々	何々	何々	何々	何々遣			
計							
杉又ハ何材ハ	何本	何十尺	何寸又ハ何寸	柱軒棟梁又ハ何々遣木品無節			
杉板又ハ何々	何坪	何尺	巾何寸以上厚何寸	床板下見板又ハ何々遣何々			

土木

敷物			計							壁			計			
何々	ズツク	疊	襖張替	帶棧戸	腰高障子	硝子障子	紙張障子	雨戸	何色兩面壁	何々片面壁	何々	何々	何々	何々	何々	
何々	何々	何枚巾	何何	何全	何全	何全	何全	何枚巾 何何尺	何坪	何坪	何坪	何坪	何坪	何坪	何坪	
何々表替又ハ縁替何々	下敷莫塵及ヒ鋸ズク敷付手間諸色一式	何疊床針數何通何表何縁又ハ無縁カ諸色一式	全何々上張下地何篇張又ハ新調何々	全木何々何寸帶棧何寸地板何枚板目カ一枚板カ何板カ	全新調カ修繕カ事由詳細ヲ記ス	全何々硝子何枚換替木品又ハ何々	何ヶ所立新調又ハ紙張替又ハ何々木品何々	何ヶ所立何本棧又ハ上下留カ又ハ打流カ木品何々	家屋下地小舞ヨリ何篇塗諸色工手間共一式	何々下地木摺壁又ハ大壁何々諸色工手間一式	何々	何々	何々	何々	何々	

(右ハ新設等ノトキ一坪代價ヲ記載スルノ例ナレトモ單ニ壁ノ繕ヒ等ノ節ハ右ノ例ニ倣ヒ坪當リ又ハ職工賃其他諸色ノ内際ヲ記載事由ナリ明カニシテ坪當リニハ一位代價表ヲ添付スルコトアルヘシ)

計		屋根		種目		計		鐵金物		計		杉丸太又ハ何々	
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々

(右ハ新設又ハ修繕ノトキ一坪ノ代價ヲ記載スルノ例ナレトモ單ニ職工ヲシテ雨防キ等ヲナサシムル小事ニ於テハ右ノ例ニ倣ヒ左官人夫石灰布海苔等内際ヲ記入スルモノトス又ハ一坪當リニハ一位代價表ヲ添付スルコトアルヘシ)

計	諸費	杉丸太又ハ竹	何本長何尺	足場道又ハ何ハ損料又ハ何々遣
	諸費	葉繩又ハ苦河々	末口何寸	何把又ハ何
計	石工	何人	何々石切任合セ一間ニ何人掛又何	何々据付ケ何々
	人夫	何人	地堅ヨリ建方大工手傳又ハ何々遣	大工何々掛又ハ一坪何人掛
計	大工	何人何分	家一坪ニ付何人掛リ板塀等ノ如キ	ハ一間何人掛リ又ハ何々遣
	木挽	何人又ハ何十何通	何々引割ニ遣又ハ木品通挽長十二	尺巾一尺ヲ一通リトス一通金何程
計	諸色代	何程		
職工賃	何程			
人夫賃	何程			
計	合金何程			
	内譯			

計	諸費	右之通相違無之候也	明治 年 月 日	官 氏 名 印
	諸費	一位代價表		
計	工事種類	屋根瓦葺	一位	
	品目	瓦諸道具	何十枚	
計	物	石 灰	何 斗	
	布	布 海 苔	何 百 目	
計	芋	芋 苜	何 百 自	
	魚	魚 油	何 合	
計	粘	粘 下 敷 土	何 合 又 ハ 何 程	
	左	左 官	何 人 何 分	
計	人	人 夫	何 人 何 分	
	何	何 々	何 々	
計	員數			
	單價			
	代價			
	計金			

○四十二年五月二十五日縣令
第三十二號ニテ第一條第二
條中改正
○四十一年十月十五日縣令
第四十一號ニテ第六條第九條
第十條改正

○宮崎縣令第二十四號(三十六年六月二十六日)
土木工事起工規則左ノ通り定ム

土木工事起工規則

- 第一條 左ニ掲クル工事ノ新築、改築、増築、變更、除却ハ特ニ規定アルモノ、外本則ニ依リ知事ノ許可ヲ受クヘシ但私人ノ起工ニ係ル願書ハ關係町村役場並ニ郡役所ヲ町村以下公共團體ノ起工ニ係ルモノハ關係郡役所ヲ經由差出スヘシ
- 一 道路、橋梁、河川、堤防、護岸、制水、運河、港灣、埠頭、船渠、海岸沙除、沿岸物揚場、堰埭、樋開、用悪水路、溜池、溝渠(公共ノ水利ニ關係アルモノ)舟路ニ關スル工事
- 一 道路、河川、堤防、港灣ノ敷地上下ニ施設スル工事
- 一 其他河川、港灣、道路、橋梁等ニ障害ヲ及ボスノ虞アル工事
- 第二條 前條ニヨリ許可ヲ受ケントスルトキハ願書又ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ但小工事ナルハ第一號ノ書類中設計書、仕様書、平面圖、縱斷圖面ノ外省略スルコトヲ得
- 一 設計書、計畫說明書、仕様書、工費總計表、一位代價表、土坪計算表、平面圖、縱斷圖、橫斷圖、工作物ノ構造圖
- 一 工事ノ爲メ潰地ヲ要スルモノハ其ノ調書但他人ノ土地ニ關スルモノハ其承諾書ヲ要ス
- 一 田地開墾等ノ爲メ水路工事ヲ爲サントスルモノハ其ノ區域ノ圖面(字名反別ヲ記入シタル)關係地主ノ同意ヲ證スル書類附近既設水路アルトキハ其ノ關係者ノ承諾書
- 一 郡以下公共團體ノ申請ニ係ルモノハ其決議書、工費支出ノ方法書、將來維持方法書
- 一 明治四年十二月布告ニ基キ工費償却ノ爲メ通行錢ヲ徵收スル者ハ其ノ費用償却方法調書
- 第三條 私人ニ工事ヲ許可スルニ方リテハ保證人ヲ立テシメ並ニ保證金ヲ納付セシムルコト

アルヘシ但保證金ハ有價證券ヲ以テ代用スルコトヲ得此場合ニ於テ其ノ價格ハ知事ノ査定スル所ニ依ル

前項保證金ハ工事成功ノ後之ヲ還付ス
第四條 許可ヲ受ケタル工事ノ設計ヲ變更セントスルトキハ其ノ分部ヲ對照シタル新舊設計書及圖面ヲ作り知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 工事ニ著手シタルトキハ直ニ届出テ成功シタルハ出來形精算書及明治二十七年九月本縣令第五十七號ニ依レル潰地調書ヲ添へ其旨届出テ検査ヲ受クヘシ

前項検査ニ依リ其工事ニシテ許可ノ設計ニ違背シタル事實アリト認メタルトキハ改築又ハ修補ヲ命スヘシ

第六條 工事施行中ハ勿論施行後ト雖モ左ノ場合ニ於テ知事ハ許可ヲ取消シ若ハ其ノ効力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既設ノ工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ設計變更ヲ命シ

若ハ必要ナル設備ヲ爲サシムルモノトス
一 工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルト

一 許可後新ニ起リタル事實ニ因リ他ニ障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルノ虞アリト認ムルト

一 法律命令施行ノ結果必要アリト認ムルト
一 水利又交通上障害アリト認ムルト

一 其他公益ノ爲メ必要アリト認ムルト
一 故ナク成工期間ヲ經過セシキ

一 第四條ノ場合ニ認可ヲ受ケサルト
第七條 起業者ハ知事ノ許可ヲ受ケタルニアラサレバ許可ニヨリテ生スル權利義務ヲ他人ニ移

スコトヲ得ス

第八條 市街地以外ニ係ル道路ニ於テ橋梁暗渠其ノ他ノ工事ノ爲メ一時通行止ノ必要アルトキハ所轄警察署又ハ分署ニ届出テ榜示ヲ請フヘシ

第九條 許可ヲ受ケスシテ第一條ノ行爲ヲ爲シタル者ハ其ノ既成部分ニ對シ支障アリト認ムルモノハ原形ニ復セシムルコトアルヘシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス
一、詐偽ノ手段ヲ以テ起工ノ許可ヲ受ケタル者

二、第一條、第四條、第八條ニ違背シタル者
三、第六條ノ命令ニ服セサル者

附 則

第十一條 本則ハ明治三十六年七月一日ヨリ施行ス但本則施行以前既ニ許可ヲ受ケタル工事ニハ本則ノ規定ヲ適用セス

第十二條 明治廿七年三月本縣令第二十八號土功修築規則ハ本則施行ノ日ヲ以テ之ヲ廢止ス

第十三條 明治三十二年二月法律第八十二號耕地整理法ニ依リ國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠其ノ他公用ニ供スル土地ノ全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入シ又ハ該地區内ニ道路、堤塘、溝渠等ノ開設ヲ要スルトキハ同法ニ依ルノ外仍ホ本則ノ規定ニ從ヒ許可ヲ受クヘシ但願書ニ添付スヘキ書類ニシテ同一ナルモノアルトキハ省略スルコトヲ得

第十四條 本則ニ依ル願(申請)届及附屬書類ノ書式ハ別ニ告示ス

○訓令第四十八號(三十六年六月二十六日)

郡役所 町村役場

明治三十六年六月二十六日 本縣令第二、四號土木工事起工規則ニ依リ願書(申請書)ヲ提出シタルトキハ
起業ノ利害及故障ノ有無ヲ審査シ意見アルモノハ副申シ意見ナキモノハ願書(申請書)中適宜
ノケ所ニ經由年月日ヲ記シ捺印ノ上(町村役場ニアリテハ町村長ノ印郡役所ニアリテハ郡長ノ印)進達スヘシ

土

木

○告示第百九十三號(三十六年六月二十六日)
明治三十六年六月本縣令第二十四號土木工事起工規則ニ依ルル願書(申請書)並附屬書類書式
左ノ通定ム

書式

何々(工事ノ名)新築ノ儀ニ付願(又ハ)

何々(稱ヲ記ス)

何々(工事ノ名稱及工)

何々(延長何間面坪何坪)

但何町村大字何ヨリ何町村ヲ經テ何町村大字何ニ至ルノ間

此工費金何程

著手期限 許可ノ日ヨリ何日以内

成功期限 著手ノ日ヨリ何日間

右何々ニ付(例ニ道路ヲレハ現在道ニ迂廻又ハ勾配急又ハ道)今般何々(私費又ハ町村費ヲ以テ新築又ハ改築シタシ
ト云フガ如キ工事ノ種類及費額其他起工ノ
目的ヲ)致度候間實地御検査ノ上御許可相成度別紙目錄ノ通書類添付此段相願(申請)候也

年 月 日

住所(又ハ居所)

起業者 氏 名 印

保證人ヲ立
ラシムルト
キノ例

保證人
住所

氏 名 印

(何郡何町村長氏名印)

宮崎縣知事宛

備考

- 一起業者二人以上ナルトキハ列記スヘシ
- 一保證人ハ本縣内ニ住所ヲ有シ公民權アルモノニ限ル
- 一私人起工ノモノハ住所又ハ居所地ノ町村長ノ與書調印ヲ要ス
- 一郡其他公共團體ノ起工ニ係ルモノモ本書式ノ例ニ倣フ以下全シ

附屬書類目録

- 一設計書
- 一計畫説明書
- 一仕様書
- 一何々々
- 一何々々

以上

備考

附屬書類ハ總テ列記ヲ要ス

潰地調書

地名及地番	地目	反別	潰地反別	成功後ノ地種及地目	摘要	所有者
何郡何町村大字何字何々番	畑	1,000	1,000	民有地二種道	買上又ハ收用ノ見込	何郡何町村何番何氏名
ク	原野	500	500	官有地三種溝渠敷	贈與ヲ受ケ寄付又ハ地上ノ見込	ク
ク	山林	2,000	2,000	民有地一種溜池敷	拂下ヲ受クル見込	農商務省主管地
計						

地名及地番	地目	反別	開墾反別	新地目	所有者
何郡何町村大字何字何々番	畑	3,000	3,000	田	何郡何町村何番何氏名
ク	原野	5,000	1,000	ク	ク
ク	山林	600	400	ク	ク
計					何人

右ハ今般費殿ニ於テ起工ノ用水路ニ關係アル地所ニ候處私共ニ於テモ該工事希望ニ付同意ノ證トシテ左ニ記名捺印候也

年 月 日

住所

土地所有者 氏 名 印

全

全

起業者

氏 名 宛

工事着手届

何郡何町村地内

一何々工事 何年何月指令第 號御許可ノ分

右何月何日ヨリ工事ニ着手致候間此段及御届候也

年 月 日

住所

計	何々	一〇〇	一〇何	々	譲與ヲ受クル見込	一	内務省主管地
		四六〇〇	四〇〇			一	

右ノ通候也
年 月 日

起業者 氏 名印
(何那何町村長氏名印)

備考

土地帳ニ依リ取調記入ヲ要ス

印紙 承諾書

一何々工事
右工事起工ニ付私共所有ノ地所該線路ニ當リ潰地ト相成候場合ハ工事着手ノ節潰地反別調査ノ上相當代價ヲ以テ賣却(又ハ贈與)可致依テ承諾書差出候也
年 月 日 住所 氏 名印

起業者 氏 名 宛
備考 地主二人以上ナルキハ列記スルモ妨ナシ
同意證

土 木

宮崎縣知事宛
工事成功届
何那何町村地内
一何々工事 何年何月指令第 號御許可ノ分
右何年何月何日工事成功致候間此段及御届候也
年 月 日

宮崎縣知事宛

起業者 氏 名印
(何那何町村長氏名印)
住所
起業者 氏 名印
(何那何町村長氏名印)

一〇五

一〇二

○三十七年六月十三日縣令
 第三十六號ニテ第四條第八
 條ニ追加
 ○三十八年十二月二十二日縣
 令第四十二號ニテ二十五條
 ノ使用期限ヲ明治四十二年
 月マテ延期ス
 ○四十一年十月七日縣令第
 八十一號ニテ第二十二條ヲ
 改ム

宮崎縣令第二號(三十七年一)
 明治二十四年七月宮崎縣令第四十九號荷車取締規則左ノ通改正ス

荷車取締規則

第一條 本則ニ於テ荷車ト稱スルハ左ノ四種ノ車ヲ云フ但行商等ニ專用スル小車(車輪ノ齒幅五
 寸七平方尺積載重量)ニハ本則ノ規定ヲ適用セス

一 大車

二 中車

三 小車

四 木口切牛車

第二條 荷車ノ構造ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但四輪車ニアリテハ後輪車ノ内幅ハ前輪車ノ外幅
 ト等シクスルカ又ハ其ノ以上タルヘシ

車ノ種類	車輪ノ數	車輪ノ齒幅	荷臺ノ面積及荷臺ノ長
大車	四	二寸五分以上	面積十八平方尺以上 長十尺以下
中車	三	二寸四分以上	面積(十二平方尺以上) 十八平方尺未滿)
小車	二	二寸四分以上	長八尺以下
木口切牛車	二	三寸五分以上	面積十二平方尺未滿 長六尺以下

第三條 荷車ノ積載重量及積荷ノ高、幅ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

車ノ種類	積載重量	積高	積幅
大車	二百四十貫目以内	六尺未滿	荷臺ヨリ各一尺以内
中車	六十貫目以内	二臺ヨリ各一尺以内	
小車	二百四十貫目以内		
木口切牛車	二百四十貫目以内		

第四條 荷車ヲ新調シタル者ハ使用前其所有者ヨリ所轄警察官署ニ届出テ檢印ヲ受クヘシ其改造若クハ修繕シタル者亦同シ

三輪以上ヲ有スル荷車ニシテ運搬ノ際一時限リ一軸ノ位置ヲ變更シテ使用スル場合ハ前項ニ依ルノ限ニアラス

第五條 荷車ニハ荷臺ノ右側ニ所有者ノ住所(又ハ居所)氏名ヲ明記スヘシ

第六條 二個以上ノ荷車前後連行スル者ハ後車ハ前車ヨリ二間以上ノ距離ヲ保ツヘシ但シ橋梁ヲ連行スルトキハ木口切牛車ハ三十間以上其他ハ五間以上ノ距離ヲ保ツヘシ

第七條 橋上坂路道路、曲角其他公衆ノ通行上妨害トナルヘキ場所ニ於テハ荷車ヲ疾驅シ若ハ駐停シ又ハ荷物ヲ積卸スヘカラス

第八條 荷車ハ逆押、並輓又ハ連繫シテ輓行スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事情ニヨリ二車以上ヲ連繫セントスルトキハ其ノ事由期間及道筋ヲ明記シ豫メ所轄警察官署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第四條第二項ノ使用方法ニ依ルトキハ前項但書ノ例ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第九條 荷物ノ重量ニシテ第三條ニ規定セル積載重量以上ナルトキハ運搬前其品質、長、幅、重量、期間及道筋ヲ明記シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 荷車ヲ一時路上ニ駐ムル者ハ路側ニ寄テ通行ノ妨害トナラシムヘカラス

第十一條 荷車ニ積載スル物件ニシテ臭氣又ハ飛散シ易キモノナルトキハ外部ニ露出セサル装置ヲナシ末口ノ尖リタル物件ハ完全ニ緊束スヘシ

第十二條 第二條及第三條ノ規定ニ適シタル荷車ト雖モ輓行中警察官吏又ハ土木吏員ニ於テ道路ヲ毀損シ若ハ危険ノ虞アリト認めル者ハ直チニ適當ノ設備ヲ命スルコトヲ得

第十三條 荷車ニ乗リ又ハ人ヲ乗ラシムヘカラス

第十四條 荷車道路ノ曲角ヲ通行スル者ハ右ハ大廻ヲ爲シ左ハ小廻ヲ爲スヘシ

第十五條 夜間荷車ヲ連行スルトキハ前方ヨリ見易キ所ニ點燈スヘシ

第十六條 荷馬車ハ馬丁ニ於テ常ニ口綱三尺以内ノ箇所ヲ把持スヘシ

木口切牛車ハ口取者ニ於テ前方ヲ見易キ所ニ附添ヒ強靱ナル口綱ヲ備ヘ常ニ之ヲ把持スヘシ

第十七條 馭者臺ヲ設ケタル荷馬車ニシテ左ノ各號ヲ具備シタルモノナルトキハ馬丁ヲ附セサルコトヲ得但シ往來雜沓若ハ狹隘ノ場所又ハ曲角、橋上其ノ他危険ノ場所等ニアリテハ馭者降車シテ前條第一項ノ規定ニ遵フヘシ

- 一 馭者臺ハ堅牢ニシテ車體ニ裝置シタル者
- 一 四輪車ニシテ駐車器、運轉器、力革、駐轡ノ堅牢強靱ナルモノ
- 一 馭者ハ滿十八年以上ノ男子ニシテ馭術ニ熟練シタルモノ
- 一 馬匹ハ強壯ニシテ驚逸ノ虞ナキモノ(獸醫ノ診斷書ヲ有スルモノニ限ル)
- 一 合圖用ノ號鐘若ハ喇叭ヲ備フルモノ

第十八條 狂躁ノ癖若ハ外傷アル牛馬ヲシテ荷車ヲ輓カシムヘカラス

第十九條 滿十八年以上ノモノニアラサレハ荷馬車ノ取者、木口切牛車ノ口取者、荷馬車ノ馬丁タルコトヲ得ス

第二十條 荷車ヲ賣買、贈與、交換、相續シタルルハ現所有者ヨリ其ノ種類、個數ヲ記シ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出解車シタルルハ消印ヲ受クヘシ

第二十一條 荷車ノ避讓方ハ左ノ各號ニ依ルヘシ
一、車、馬又ハ歩行者ニ逢フトキハ左ニ避ケ軍隊又ハ砲車、輜重車ニ逢フ片ハ右ニ避クヘシ

一、荷積車ニ對シテハ空車之レヲ避ケ坂路ニ於テ荷積車相逢フトキハ登車之ヲ避クヘシ
一、郵便脚夫、郵便電信配達夫、郵便若ハ消防用ノ車其ノ他學校生徒ノ隊伍又ハ葬送等ニ逢トキハ便宜避讓スヘシ

第二十二條 第二條乃至第十一條及第十三條乃至第二十條ニ違背シタル者ハ三十日未滿ノ留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

第二十三條 警察官吏又ハ土木吏員ニ於テ臨時車體檢查ヲ爲シ設備不完全ニシテ危險ナリト認ムルルハ其ノ使用ヲ禁止スルコトアルヘシ

第二十四條 本則ハ明治三十七年二月一日ヨリ施行ス

第二十五條 本則施行ノ際現ニ使用スル荷車ニシテ第二條ノ規定ニ適セサルモノハ明治三十九年一月限リ其ノ使用ヲ禁止ス

第二十六條 本則ハ軍用、郵便電信用、工用及消防用ノ車ニ適用セス

第二十七條 明治三十四年五月宮崎縣令第三十二號ハ本則施行ノ日ヲ以テ之ヲ廢止ス

附 則

○三十七年八月一日縣令第
四十五號ニテ第五條中改正
○四十五年十月十五日縣令
第百六號ニテ第十二條改正

○宮崎縣令第十八號(三十七年三月十七日)

明治二十七年三月本縣令第二十九號河川港灣取締規則左ノ通改正ス

河川港灣取締規則

第一條 本則ニ於テ河川ト稱スルハ河川法施行以外ノ總テノ公共河川ヲ謂ヒ(支派川ヲ)港灣ト稱スルハ船舶ノ出入又ハ碇泊ニ供スル公有海面ヲ謂フ

第二條 河川ノ敷地ト稱スルハ有堤部ニアリテハ河川ニ沿フタル兩堤ノ間ヲ謂ヒ無堤部ニアリテハ兩岸ノ間ヲ謂フ但シ堤防又ハ崖岸地ナキケ所ニアリテハ知事ニ於テ事實上河川敷地ト認ムル區域ヲ謂フ

港灣ノ區域ハ特ニ規定アルモノヲ除ク外事實上知事ニ於テ認ムル所ノ限界ヲ謂フ

第三條 河川港灣ニ於テ左ノ行為ヲ爲サントスル者ハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

- 一、河川港灣ヲ浚渫スルコト
- 二、水車ヲ設置スルコト
- 三、木材流下ノ爲河川敷地内ニ一時仮堰ヲ設置スルコト
- 四、土石砂利ノ類ヲ採收スルコト
- 五、河川敷地内ノ竹木、生草、枝葉ノ類ヲ伐採スルコト
- 六、一定ノ期間水面又ハ敷地ヲ區劃シ竹木、槎筏ノ類ヲ留置スルコト
- 七、河川敷地内ニ木道俗稱修羅ヲ設置スルコト
- 八、流材ヲ防止スルノ目的ヲ以テ敷地ニ杭ヲ建設シ網繩ノ類ヲ張り若ハ竹木ヲ使用シ一定ノ區域内ニ於テ流水ヲ防遏スヘキ設備ヲ爲スコト
- 九、河川敷地ヲ耕地ニ使用スルコト

第四條 河川港灣ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ工事施行ノ爲已ムヲ得サル場合ニ

在リテハ特ニ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一、故意ニ土石、塵芥其ノ他ノ物ヲ投棄若ハ注入スルコト

二、燃質物ヲ以テ築造シタル橋梁、棧橋ヨリ五間以内ノ場所(住家及邸内ヲ除ク)ニ於テ焚火ヲ爲スコト

三、乗客及貨物ノ揚卸ニ必要ナル時間ノ外船舶ヲ棧橋ニ繫留スルコト

四、量水標、測量杭、橋梁、棧橋其ノ他河川港灣内ノ工作物ニ舟筏、竹木、牛馬ノ類ヲ繫

クコト

五、橋臺、護岸、制水工ノ内部ニ於テ捕魚スルコト

六、故意ヲ以テ河川港灣内ノ工作物ヲ毀損スルコト

第五條 第三條ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ願書ニ設計書(設計ヲ要セサルモノハ之ヲ省ク)及ヒ圖面(附近ノ地形ヲモ掲ク)ヲ添ヘ關係町村役場ヲ經由シ差出スヘシ但シ第三條第

二號以下ニ規定シタルモノハ本規則ニ依リ出願スルニ及ハス其ノ第二號、第三號、第六號

乃至第九號ニ該當スルモノハ明治三十七年八月本縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規

程第五號書式ノ願書ニ又第四號第五號ニ該當スルモノハ同規程第二十號書式ノ願書ニ願旨

ヲ併記スヘシ

第六條 舟筏ノ通スル河川ニ設クル堰埭其ノ他河川ヲ横過スル工作物ニハ添筋ニ相當ノ舟筏

通ヲ設クヘシ

第七條 河川敷地又ハ水面ニ竹木若ハ檣筏ノ類ヲ一時停留セシトスル者ハ流失ヲ防クニ足ル

ヘキ設備ヲ爲スヘシ

第八條 河川港灣内ニ於ケル工作物ノ修繕ヲ爲サントスル者ハ着手十日前ニ書面ヲ作成シ關

係町村役場ニ經由シ其旨知事ニ届出ヘシ

第九條 故意ト過失トヲ問ハス縣費支辨ニ係ル橋梁、堤防、護岸、制水、其ノ他河川港灣内

ニ施設シタル工作物ヲ毀損シタルトキハ直ニ知事ニ届出テ指揮ヲ受ク自費ヲ以テ修補スル

カ又ハ損害額ヲ賠償スヘシ

第十條 許可ヲ受ケ第三條第六號、第七號ノ行爲ヲ爲ス者ハ出水ノ際流失ヲ防クニ足ルヘキ

設備ヲ爲スヘシ但シ其ノ方法ハ出願ノ際書面ニ明記スルコトヲ要ス

第十一條 本則ニヨリ許可シタルモノト雖水利、通航上障害ヲ加ヘ若ハ加ヘントスルノ虞ア

ルトキ又ハ法律、命令ニ違背スル事實アルトキ又ハ公益上必要アリト認ムルトキハ知事ハ

許可ヲ取消シ若ハ其ノ効力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既設物件ヲ除去セシメ若ハ

必要ナル設備ヲ爲サシムヘシ

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ料料ニ處ス

一、詐僞ノ手段ヲ以テ許可ヲ受ケタル者

二、第三條、第四條、第七條、第八條、第十條ニ違反シタル者

三、第十一條ノ命令ニ服セサル者

第十三條 本則ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス但シ従前ノ規則ニ依リ既ニ許可ヲ受ケタ

ルモノニハ本則ノ規定ヲ適要セス

第十四條 河川港灣ノ取締又ハ漁業ニ關シ別段ノ規定アルモノハ各其ノ規定ニ依ル

第十五條 本則ニ依レル願届ハ左ノ書式ノ例ニ依ルモノトス

附 則

書式(第三條第一號ノ願書例)

土砂(又ハ轉石若ハ何々)埋没ニ付浚渫願

何郡何町村大字何地先

一何川筋(又ハ何港灣内)延長何間幅何間
深何尺

此土坪何坪工費金何程

竣功期間何日何月何日着手
何月何日竣功

右ハ出水ノ爲メ(又ハ風波ノ爲メ若ハ何々ト云フカ如キ埋没シタル原因ヲ掲ク)土砂流出(又

ハ土砂ヲ吹上ケ若ハ何々ト云フカ如シ)溶筋(又ハ港灣口)埋没シ通航上(又ハ水利上)不便(又

ハ危険ト云フカ如キ支障ノ事實ヲ掲ク)少カラス候ニ付何費ヲ以テ(私費又ハ町村費)浚渫致度候

間實地御検査ノ上御許可相成度別紙設計書及圖面添付此段相願候也

年 月 日

住所(又ハ居所)

願人 氏 名 印

(何郡何町村長氏名印)

宮崎縣知事宛

書式(第八條ノ願書例)

何々(工作物ノ名
初テ記ス)修繕ノ儀ニ付届

何川筋(又ハ何港灣内)何郡何町村地先

一何々修繕工事 延長何間幅何間
高何間

此工費金何程

竣功期間何日何月何日着手
何月何日竣功

右何々ニ付(例ハ洪水ノ爲メ堰堤破損シタリト云フカ如キ修繕ヲ要スル事由ヲ記ス)今般何々
(私費又ハ町村費ヲ以テ復舊工事施行シタシト云フカ如キ費途及修繕ノ程度ヲ記ス)致度候
間御開置相成度此段及御届候也

年 月 日

住所(又ハ居所)

工作物所有者管理何氏名印

(何郡何町村長氏名印)

宮崎縣知事宛

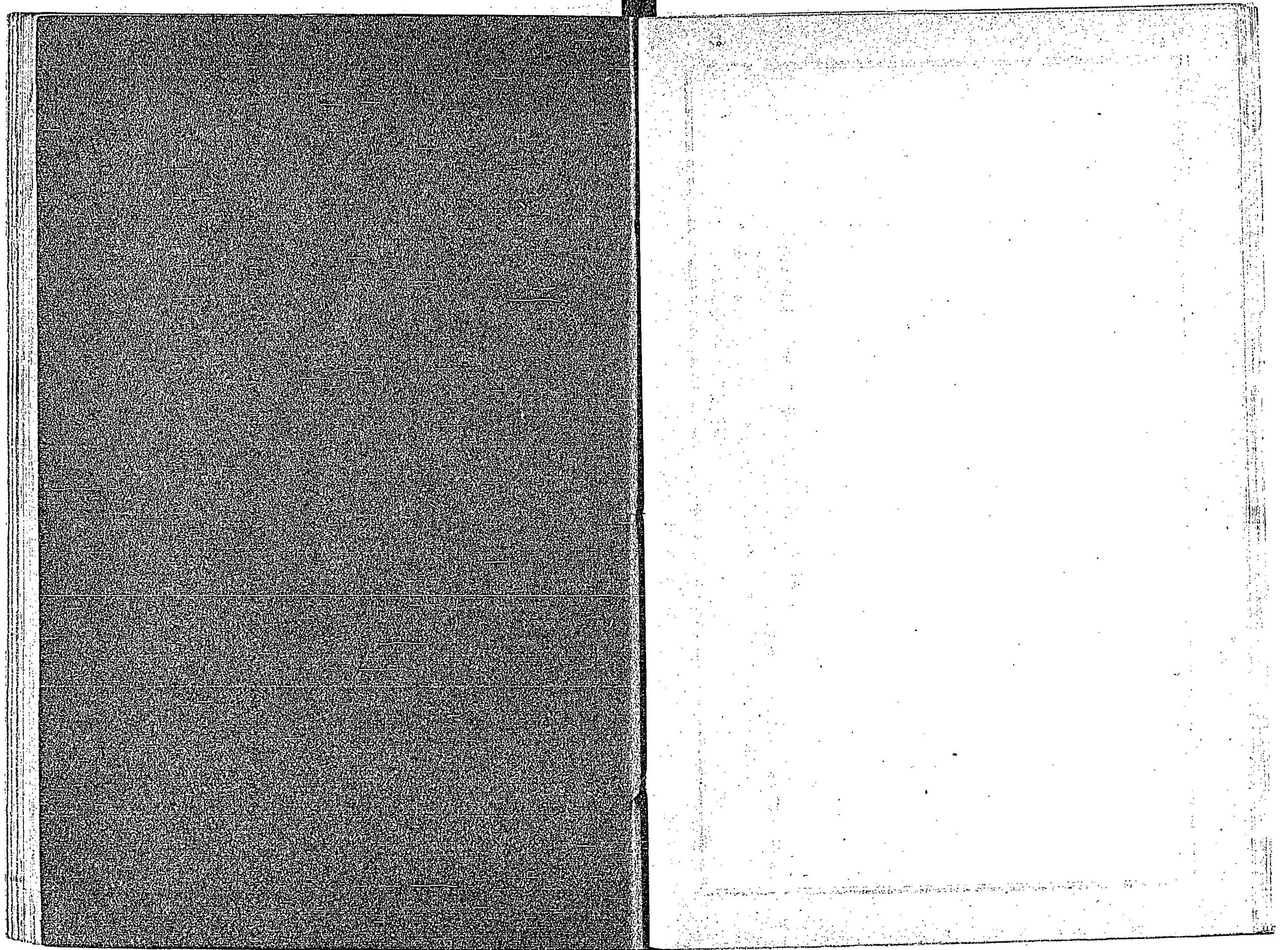
○告示第三十七號(四十年一月二十六日)
 縣下兒湯郡一ツ瀬川筋舟路開鑿並ニ通行料徴收ノ儀宮崎縣兒湯郡西米良村井上大助全村井上久助高知縣吾川郡清水村木下秀幸熊本縣球磨郡大村葦田才藏大阪府堺市寺地町食滿藤吉大阪府東區平野町澤田善助全區南農人町河野藤造全南區難波宇田秀一郎全東區道修町吉岡完全區今橋中川淳ヨリ出願許可ノ處工事落成ニ付本年二月一日ヨリ向フ廿九年九月間右舟路開鑿人ニ於テ左記通行料金ヲ徴收ス

種類	西米良村大字上米良ヨ全村大字越野尾ヨリ杉
高瀬舟(川下リ)	艘貳拾錢
全(川上リ)	艘拾錢
小(上下共)	艘六錢五厘
船積木材	肩 肆錢五厘
及諸板類	板類ハ坪又ハ枚數ヲハニ換算ス
木材川流	肩 參錢五厘
シ筏並個	肩 參錢五厘
木個分流炭	俵壹錢參厘

○宮崎縣令第一百號(四十二年十月十五日)
明治二十九年十月宮崎縣令第五十三號ヲ左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
道幅狹隘ニシテ牛車ノ通セサル場所ノ外公道ニ於テ木石材等ノ地曳ヲ爲スコトヲ得ス違反ス
ル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

土

木



- 一官有地及建物ノ拂下又ハ無代下渡ヲ受ケタルトキ登記請求方
- 一免租地ヲ有租地トナサントスルトキ出願方
- 一宮崎縣山林特別處分例
- 一全處分例第九條ノ申立書受理期限延期ノ件
- 一陸地測量諸標保管上ノ件
- 一官有地及建物ノ拂下又ハ無代下渡ヲ受ケ登記請求書ヲ差出シタルトキ取扱方
- 一宮崎縣山林特別處分例ニ依リ下渡サルヘキ個所豫告ノ件
- 一部分林調査事務鹿兒島大林區署ニ引繼ノ件
- 一一人又ハ公共團體ヨリ土地ヲ寄附上地又ハ賣上タル場合ノ手續
- 一部分林調査出願規程ニ依リ出願シタル部分林調査未了ノモノニ付テノ件
- 一官有土地水面及產物處分規程
- 一特別部分林設定出願手續
- 一南那珂郡北郷村及酒谷村部分林伊東祐弘外六千八百八十名ヨリ登記申請ヲ爲スヘキ件
- 一民有地内ニ生立セル並木ヲ伐採スルトキ認可ヲ受クヘキ件

三十二年八月
縣令第五十六號
三十二年九月
縣令第六十四號
三十三年四月
告示第九十四號
三十三年十二月
告示第二百一十一號
三十五年二月
告示第二百五十一號
三十五年十二月
訓令第九十號
三十六年八月
告示第二百三十一號
三十七年四月
告示第二百三十一號
三十七年六月
告示第二百三十一號
三十七年七月
告示第二百三十一號
三十七年八月
告示第二百三十一號
三十八年四月
縣令第四十四號
三十九年三月
告示第二百三十一號
三十九年十一月
告示第二百三十一號
四十一年十月
縣令第十一號

五九 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

○告示第二百十號(二十一年十月十四日)
宮崎大林區署ニ於テハ今般部分林調査ニ付該規程左ノ通り定メラル

部分林調査規程

- 第一條 部分林ヲ調査スルノ要ハ其仕付人ト位置及界域ヲ明瞭ニシ以テ各種ノ故障ヲ防制スルニアリ
- 第二條 部分林ノ調査ヲ結了シタル上ハ(部分木條例ニ據リ證券ヲ所有スルモノヲ除ク)部分木證券ヲ下渡スヘシ
- 第三條 部分林ノ調査ハ其村落ノ一隅ヨリ始ムヘシ但部分木編入及植挿出願中ノ個所ハ同シク調査スヘシ
- 第四條 部分林ノ調査ニハ左ノ立會人ヲ要ス但一項三項四項ハ實際必要ノ場合ニ於テ之ヲ適用ス
 - 一 地元戸長又ハ其代理者
 - 二 部分木仕付人又ハ其相當代理人
 - 三 接續林地ノ民有地ニ於テハ其所有者部分林ニ於テハ其仕付人又ハ二者共ニ其相當代理人
 - 四 舊山守木留ノ類ニシテ部分林地ヲ簡熟スルモノ
- 第五條 部分林ニハ一官林限リ番號ヲ付スヘシ但一部分林ヲ分割シテ二番號ヲ付スルヲ得ス
- 第六條 仕付人ヨリ差出タル届書及圖面ハ實地并官簿(本署)又ハ戸長役場備付ノ書類等ヲ云フト照合シタル上該林地ノ立木ヲ削リ部分林番號及仕付人名ヲ記スヘシ但林木削記ニ便ナラサル箇所ハ仕付人ヲシテ其代用品ヲ差出サシムヘシ

第七條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ部分木臺帳ノ編製及仕付人ヨリ差出タル届書圖面ノ整理ニ着手スヘシ

第八條 前條仕付人ヨリ差出タル圖面ニハ調査員及小林區署長又ハ派出所筆頭者ハ之ニ署名捺印スヘシ

第九條 官簿ニ脱落シ又ハ證據書類ニ乏シキモノハ地元村内ニ於テ三名以上ノ保證書ヲ徴スヘシ

第十條 許可ヲ得テ植挿シタルモノ、外ハ部分林内ニアリト雖モ官木トス但植挿出願中ノモノト雖モ其自生ニ係ルモノハ亦同シ

第十一條 部分木證券ト引換ノ爲メ舊藩下付ノ目錄(舊鹿兒島藩ノ類例)ヲ差出シタルモノ又ハ目錄紛失届ノ本署ニ引繼ナルモノハ該書類ニ就キ調査スヘシ

第十二條 免許ヲ受ケスシテ植樹シタルモノハ證據人相立目錄下渡ヲ願フノ慣例(舊鹿兒島藩ノ類例)ニ從テ届書ニ證人連署セシムヘシ

第十三條 部分林ノ本署臺帳及地價帳又ハ杉帳ニ脱落シタルモノハ舊飯肥藩ノ類例(保證ニ據リ調査スヘシ)

第十四條 從前官民現木部分ケアルモノハ杉帳ヲ(舊高鍋藩ノ類例)基礎トシテ取調(現在官民木ニ對シ適當ノ歩合ヲ定メ代金部分ニ改ムルコトヲ仕付人ト協議スヘシ但現在木僅少ナルカ又ハ官民木ノ歩合ニ著ク權衡ヲ失フ場合ニ於テハ從前ノ儘据置クコトアルヘシ)

第十五條 從前官民現木部分ノ慣行アル地方ト雖モ未タ現木部分無之(舊高鍋藩ノ類例)モノハ部分木條例ニ照ラシテ適當ノ歩合ヲ定ムヘシ

○訓令第百六十一號(二十四年六月十八日)

郡役所 町村役場

堤塘道路並木敷ノ使用其他收益等自今左ノ各項ニ從ヒ處分スヘシ

- 一 地盤ノ官有ニ屬スル堤塘道路並木敷ニシテ其費用ヲ市町村ニ於テ負擔スル敷地ノ使用ハ當廳ノ認可ヲ經テ後其ノ市町村ニ於テ處分スヘシ
- 一 前項ノ堤塘道路並木敷ノ使用料及堤塘道路用悪水路土居敷等ニ屬スル竹木其他ノ收益ハ其費用ヲ負擔スル市町村ノ收入トス
- 一 費用ノ主擔定マラサルカ又ハ年々負擔ヲ異ニスル堤塘道路並木敷用悪水路土居敷等ノ使用及其收益ノ處分ハ當廳ニ稟申スヘシ
- 一 地盤ノ市町村有ニ屬スル塘堤ノ使用及堤塘ヨリ生スル收益等ハ市町村ノ管理トス

三十年十二月官有山林原野
ハ大林區署主管ニ移ル

○訓令第四百十三號(二十七年八月二十五日)
官有地及官有山林原野(大林區署主管ノモノヲ除ク)ニ被害アルトキハ町村役場ハ左記様式ニ倣ヒ取調ヘ五日以内ニ郡役所ヲ經由届出ヘシ

郡役所 町村役場

何郡何町 大字何字何々番山林
何郡何村 大字何字何々番原野
何郡何字何々番荒地 被害表

被害種類	面積(歩)	種類	數量	材		薪		竹	
				見積代價(厘)	數量(束)	見積代價(厘)	數量(束)	見積代價(厘)	數量(束)
水害									
火災									
震災									
崩壊									
蟲害									
計									
備考									

凡例 地上ニ立竹木ナク地表ノミ水害震災崩壊等ノ害ヲ被リタルモノハ其面積ノミヲ記載スルモノトス
本表ハ一筆毎ニ其被害ヲ調査スルニ及ハス被害ノ數筆ニ涉ルモノハ其地番ヲ標目中ニ列記スルモノトス
被害ノ景況及被害ノ起終年月日ハ備考欄内ニ記入スルモノトス

尺バトハ一尺角長二間ノモノ一柵トハ長三尺ノモノヲ高六尺幅六尺ニ積ミタルモノ一
束トハ三尺繩ベチ云フ
本表ハ官ニ屬スル私有地ノミヲ調査スルモノトス

○訓令第十八號(二十八年二月廿三日)

郡役所 町村役場

明治二十三年七月勅令第三百三十五號官有地特別處分規則第三條並全年十一月十一勅令第二百七十五號
官有財産管理規則第十二條及第十三條ニ基キ官有土地水面ノ讓與ヲ請フキハ左ノ書式ニ準シ
該地四周ノ地種地目地番(道路ナレハ新舊道ヲ記入シタル見取圖及丈量圖ヲ添付シ郡役所ヲ經由申
請スヘシ但該地内ニ立竹木アルキハ其種類不數並每本ニ對スル目通廻及長寸尺又ハ尺ノ柵數
等ヲ記入シタル調書ヲ添付スヘシ
郡役所ニ於テ前項ノ上申ヲ受理シタルキハ公共ノ利害ニ關シ支障ノ有無ヲ調査シ意見ヲ副申
スヘシ
書式

舊道路敷讓與ノ儀ニ付上申

郡町(村)大字

字地番ノ隣地

一 舊道路敷實測反別何程

〃〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃〃

右ハ何道筋(又ハ用悪水路等)ニテ其修理保存費ハ從來本町(村)負擔ニ屬スルモノニ有之候處
何々(道路溝)ノ爲メ何年何月廢道(又ハ廢溝等)ニ歸シ將來存置ノ必要無之認メ候ニ付本町(村)
ハ讓與相成度別紙圖面及町村會決議書寫相添ヘ此段上申候也

年 月 氏名 日

何郡何町(村)長

氏

名 印

宮崎縣知事氏名宛

○訓令第十九號(二十九年三月十八日)

郡役所 町村役場

道路、堤塘、河川、溝渠、溜池等直接公用ヲ廢セントスルトハ左ノ各項ヲ取調ヘ其實測圖面ヲ添ヘ郡役所ヲ經由上申スヘシ

一 町村、大小字名、川河名、地目、地番、反別

二 公用ヲ廢セントスル理由

三 従前修理保存費ヲ町村費其他公共團體ニテ負擔シタルヤ否

○訓令第百一十一號(二十九年十月六日)

警察署 警察分署 町村役場

明治二十八年八月陸軍省令第十七號陸地測量標條例施行細則第十二條第二項ニ依リ陸地測量諸標保管方法左ノ通相設ケ候條本方法ニ依リ監守スヘシ

陸地測量諸標保管方法

第一條 陸地測量諸標ハ警察官巡行ノ線路ニアルモノハ警察官之ヲ監守シ其以外ニアルモノハ町村長之ヲ監守スヘシ

町村長ノ監守ニ係ルモノハ少クモ毎年一回以上巡視スヘシ

第二條 陸地測量諸標ノ亡失毀損其他異狀アリタルトキハ事由ヲ詳記シ監守者ヨリ速ニ届出ツヘシ

第三條 明治二十七年三月宮崎縣令第三十號ニ依リ町村ニ於テ道路掃除ヲ施行スル場合ニ於テハ陸地測量諸標ノ周圍ハ特ニ叮嚀ニ掃除シ地盤ノ凹凸又ハ測量諸標ニ異動等ヲ生セシメサル様注意スヘシ

第四條 民有地内又ハ民有接續官有地ニ設置シタル陸地測量諸標ハ其地主又ハ關係人ヲシテ亡失毀損ヲナサシメサル様注意スヘシ

第五條 陸地測量諸標ノ種類設置地名等ハ建設ノ都度本縣内務部ヨリ通報スヘシ其移轉若シクハ撤去ニ係ルトキ亦同シ

地

理

○宮崎縣令第八十一號(三十年十二月二十八日)
從來ノ縣令ニシテ官有林野拂下賣渡等ニ關スル分ニ限リ明治三十年十二月二十八日限廢止ス

○訓令第五十六號(三十年十二月二十八日) 郡役所 町村役場
官有林野拂下貸渡並官有林野ニ於ケル主副産物拂下ニ關シ從來發シタル訓令、内訓、達等ハ
明治三十年十二月二十八日限り廢止ス

○告示第二百二十四號(三十年十二月二十八日)
官有林野拂下貸渡並官有林野ニ於ケル主副産物拂下ニ關シ從來發シタル告示ハ明治三十年十二月二十八日限り廢止ス

地
理

地
理

○告示第五十七號(三十年四月六日)
官有土地水面及森林原野ノ拂下貸下若クハ埋立及産物拂下許可ノ後受書提出前ニ方リ願人又
ハ保證人ニ於テ改印改肉シタルトキハ本籍所在ノ町村長ヨリ印鑑證明ヲ得受書ニ添付スヘシ

○訓令第十七號(三十年九月二十九日)

郡役所 町村役場

本年九月告示第三百三十八條ニ依リ町村役場ニ於テ並木伐採ノ申請書ヲ受理シタルモノハ町村長ハ十日以内ニ左記ノ各項ヲ取調ヘ副申ヲナシ郡役所ニ提出シ郡長ハ十日以内ニ意見ヲ附シ進達スヘシ

- 一 申請ニ係ル並木所在ノ地所ハ民有ニ相違ナキヤ否ヲ地租改正圖面地押調査圖及土地臺帳等ニ就キ調査スヘシ但地租改正圖ト地押調査圖ト相違アルモノハ其相違ノ兼ヲ具申スヘシ
- 一 申請ニ係ル並木ニシテ從來官木又ハ民木ノ證據アルモノハ其證據書類又ハ事實ノ調査書ヲ提出スヘシ
- 一 申請ニ係ル並木ハ將來保存スルノ必要アルヤ否ヲ調査スヘシ

地
程

○告示第三百三十八號(三十年九月二十九日)
本年九月本縣令第六十六號ニ依リ民有地内ニ生立シタル並木伐採ノ認可ヲ請ハントスルモノハ
左ノ書式ニ據リ實測圖面(別紙様式ニ據ル)ヲ添ヘ所在町村役場ニ差出スヘシ
並木伐採之義ニ付申請

何郡何町大字何字何々番^{田畑}地内^{何々}

一何木 何本

内

一號 目通何尺廻

二號 目通何尺廻

三號 、、、、、

右ハ國(縣)道ニ沿ヒ又ハ接續シ前記地盤内ニ生立スル從來ノ並木ニ有之候處何々ノ理由
ニ依リ今般伐採致度候間御認可相成度此段申請候也

明治 年 月 日

宮崎縣知事宛

何郡何町大字何々番^{田畑}地内^{何々}

右地主 何

某印

(別紙)

何郡何町大字何々字何々番^{田畑}地内^{何々}並木伐採申請個所圖面

縮尺何百分ノ一

申請人 何

某印

圖面及凡例ハ略ス

○告示第十三號(三十一年一月二十二日)
官林内主副産物拂下並ニ地所貸下願ニシテニ小林區署以上ニ跨リタル事件ノ外總テ小林區署
ヲ經テ出願スヘキ旨告示方鹿兒島大林區署ヨリ照會アリタリ

地
理

○三十二年七月七日告示百
 廿三號ニテ第二號書式中改
 正
 ○三十二年八月廿三日告示
 百五十五號ニテ第三號書式
 中改正
 ○三十二年九月十六日告示
 百七十號ニテ第二號書式中
 改正追加
 ○三十三年三月廿日告示七
 十六號ニテ第二號書式中改
 正

○告示第四百七十七號(三十二年七月十六日)
 部分林調査ハ本縣ニ於テ之ヲ施行ス依テ部分林調査出願規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

部分林調査出願規程

第一條 此規程發布以前ニ部分木仕付ノ許可ヲ受ケ未タ部分木證券ノ下渡ヲ得サルモノ又ハ許可ヲ受ケスシテ木竹ヲ植挿シ部分木證券ヲ受ケントスルモノハ第一號書式ニ據リ明治三十二年六月三十日限り町村役場ヲ經由願出ヘシ但既ニ願出届出アルモノハ此限ニアラス
 部分木栽植ニ關シ證據書類アルモノハ前項願書ニ其書類ヲ添ヘ無キモノハ明治二十一年十月告示第四百二十一號雛形ニ據リ本縣知事ニ宛公民權ヲ有スルモノ二名以上ノ保證書ヲ添フヘシ

第二條 前條第一項ノ手續ヲナサズ濫リニ期限ヲ經過シタルモノハ追テ何分ノ告示ヲナスマテ調査ヲナサ、ルヘシ
第三條 部分林臺帳登錄又ハ部分林設定ノ通達ヲ受ケタルルハ第二號書式ニ依リ契約書一通ヲ作り直ニ差出スヘシ

第一號書式

植(挿)木(竹)調査願
 何郡何町村大字何、何國有林(原野)(部分林)
 字何々番(舊字又ハ小字)
 土地臺帳面反別何程ノ内
 一實測反別何程
 杉 幾 本

内 一尺未満
三尺回以上
六尺回以上
何本
何本
何本

何幾本
一尺未満
何本

内 一尺回以上
三尺回以上
六尺回以上
何本
何本
何本

何竹幾本
五寸回以下
何本

内 五寸回以上
壹尺回以上
何本
何本

何年何月植(挿)付

右私(共)ノ植(挿)付致候樹(竹)ニ相違無之今般本縣告示第四百十七條ニ依リ別紙實測圖面添
付出願仕候間御調査相成度此段相願候也

明治三十一年 月 日
何郡何町村大字何々番戸
願人 何 某印

宮崎縣知事宛
前書ノ事實取調候處相違無之候也
何町村長印

第一號書式附屬
何郡何町村大字何々國有林字何々番
願人 何 誰印

此測量反別 何程
縮尺ノ割合 反別一町步迄ハ一分ヲ以テ一間トス
反別一町步以上五町步迄ハ五分ヲ以テ一間トス
反別五町步以上ハ二厘五毛ヲ以テ一間トス

地勢(平坦或ハ何向傾斜等)
(圖面ハ略ス)

右私共隣接地主(部分林ナレハ仕付人)ニ於テ境界ニ異存ナキニ付連署ス
何郡何町村大字何々番戸
地主 何 誰印

何郡何町村大字何々番戸
仕付人 何 誰印

注意 隣接地民有ニシテ官林境界調査濟ノ個所ハ地主ノ連署ヲ要セス
第二號書式(△印アル分ハ舊高嶺領内ニ於ク)
シ現木部分ナリシタル場合ニ用)

部分林契約書

何國何郡何村大字何々國有林(原野)

字何々番(ノ内)

一實測面積何程
植(挿)付樹種及數 何樹 何本

收益分收ノ部合 何分何官何分何民

△何樹何本現木部分 官收木

△何樹何本現木部分 民收木

右ハ何年何月栽植シタル部分林ト認定シ今般前書ノ通り(年月設定ノ部分林ニシテ今般前書
ノ通)(杉帳部一山帳及證文目錄ニ)契約締結候ニ付テハ部分ニ關スル諸法規及左記ノ條件ヲ承諾シ

雙方署名捺印ノ上各一通ヲ領收シ置クモノ也

宮崎縣知事 氏 名
住 所
造林者 何 誰

年 月 日

一 存續期間ハ明治何年ヨリ何十年目ノ十二月ヲ以テ滿了期トス但期間内ト雖モ伐採若クハ其他ノ原因ニヨリ部分木實地ニ存在セサルトキハ其後ノ期間ハ當然消滅ノ事

一 伐期ハ明治何年ヨリ何年目トス
一部分林トシテ伐採シタル樟樹ノ根株ハ幹木同様ノ分收トス(舊高鍋領内ニ於ケル現木部分ノ場合ハ省ク)

一 伐採回数何回明治何年 明治何年 明治何年

(本項ハ矮林作業ノ分ニ用ユ)

一部分林内ニ樹種ノ増加シタル時ハ臺帳へ登録方ヲ大林區署長ニ請求スヘシ(舊高鍋領内ニ於ケル現木部分ノ場合ハ省ク)

△一現木部分ノ民收木ハ伐採ノ都度所轄小林區署ニ届出テ認可ヲ受クル事

一 國用又ハ公益ノ爲メ必要アル場合ハ存續期間内ト雖モ時價又ハ材積ヲ以テ分收(民收木ハ伐採)シ跡地ハ直ニ返地スヘキ事但返地ニ關シ損害ヲ生スル事アルモ之カ要償ヲ申立サル事(本項插旗アル分ハ舊高鍋領内ニ於ケル現木部分ノ場合ニ用ユ)

町 村 役 場

○訓令第七十四號(三十一年七月二十日)

明治三十一年七月告示第四百十七號ニ依リ部分林調査願書ヲ受理シタルトキハ十日以内ニ左記ノ事項ヲ調査シ與書ノ上願書進達スヘシ但調査上時日ヲ要スル義有之本文期限内ニ調査完了セサルトキハ願書進達ノ節其旨副申スヘシ

一 願地ノ町村名大小字名地目地番反別等土地臺帳面ニ相違ナキヤ否

二 圖面ハ字圖ニ對照シ相違ナキヤ否

右二項ノ廉ハ圖書又ハ圖面ニ便宜附箋シ町村長之レニ押印スヘシ

三 證據書類ニ記載シタル地名ト願地ト符合スルヤ否

四 出願ノ樹竹ハ願人ニ於テ插植シタルニ相違ナキヤ否

五 保證人ハ公民權ヲ有スルモノニ相違ナキヤ否

○諭告第四號(三十一年七月二十六日)

本縣内各郡町村ニ於テ舊藩時代ノ慣行アルモ國有林野内ニ部分木ヲ仕立ント欲シ許可ヲ待タス樹竹ヲ植挿スヘカラサル義ハ明治二十二年以來各郡町村長ヲシテ再三諭告セシメタルモ因襲ノ久シキ容易ニ其弊害ヲ改ムル能ハス年々植挿シ來リタル樹竹ノ數ハ幾十萬本ナルヲ知ルヘカラス右等ノ所爲ハ法規ニ背戾スルノミナラス大林區署ニ於テハ國有林野ノ取締林業ノ施設ニ對シ差支ヘ不都合尠カラサルニ付自今國有林野内ニ於テ許可ヲ待タス樹竹ヲ植挿スルモノハ部分林編入ノ處分ヲ受タルヲ得サルノミナラス或ハ之レカ拔棄ヲ命セラル、ヤモ難計ニ付各郡町村人民ハ右等ノ不都合ナキ様深ク注意スヘシ

明治三十一年七月七告示第四百四十七號發布以前ニ許可ヲ受ケス國有林野内ニ樹竹ヲ植挿シタルモノニ對シテハ一日モ速ニ其調査ヲ了シ官民分收ノ權利ヲ確定スヘキノ必要ナルハ論ヲ待タサルヘシ故ニ樹竹植挿者ニ於テハ右告示第一條ニ規定セル期限内ニ部分木證券下附ヲ出願セサルモノハ其調査ヲ受クルハ何年ノ後ニアルヤ謀ルヘカラス部分林調査ノ斯ノ如ク延引スルニ至リテハ國有林ノ整理上大林區署ニ於テ至難ヲ感セラル、ノミナラス人民ノ困難亦非常ナル次第ニ付各郡町村人民ハ右期限内ニ規定ノ順序ニ從ヒ速ニ部分木證券下附ヲ出願スヘシ

右諭告ス

○三十三年二月十七日縣令
第八號ニテ但書削除

○宮崎縣令第五十六號(三十二年八月二日)

常廳管理ニ關スル官有地及建物ノ拂下又ハ無代下渡ヲ受ケタノハ左ノ請求書ニ相當登錄稅
ヲ添ヘ町村長與印ヲ受ケ直チニ常廳ヘ差出ス可シ

明治二十四年縣令第十六號ハ廢止ス
(用紙半紙)

官有地(官有建物)拂下(無代下渡)ニ付登記請求願

今般何郡付町所在ノ官有地(官有建物)拂下(無代下渡)ヲ受ケ候ニ付登記有之度別紙指令書(達書)(契約書)代金納付ノ證)及登錄稅何程相添ヘ此段相願候也

明治何年何月何日

何郡何町大字何々番戶

何

某

宮崎縣知事宛

○縣令第六十四號(三十二年九月十日)
地租條例第十一條ニヨリ免租地ヲ有租地トナサントスルキハ別紙書式ニ準シ願書ニ通テ製シ
圖書一紙ノ土地ヲ分製スルトキハ圖ヲ添付シ地元町村役場ヲ經由差出スヘシ但圖面縮尺ノ割合ハ壹
分壹間トスヘシ

(願書式)

免租地變更願

何郡何村大字何

字何々番(ノ内)

一何(元地目)何反歩

(外何歩据置)

右ハ今般何々(地目)ニ變更致度候ニ何キ御許可被成下度圖面添へ此段相願候也

年月日

住所

何 某印

宮崎縣知事宛

宮崎縣山林特別處分例
第一條 地租改正處分ニ依リ民有ニ査定シタル土地森林原野ニシテ明治十四年ヨリ全二十三年ニ至ル官林境界調査ニ依リ出願又ハ命令ヲ以テ官林ニ編入シ現ニ國有ニ屬スルモノ、内
第二條 下渡ハ官林ニ編入シタル當時ノ所有者又ハ相續人ニ之ヲ爲スヘシ但未タ土地臺帳ノ
更正ヲ爲サ、リシモノハ現ニ所有者トシテ臺帳ニ記載セラレタル者ニ下渡スヘシ
第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ下渡ヲ爲スヘカラス
一 明治十一年調製ノ官林臺帳ニ登録シタルモノニシテ民有タリシコトヲ確認スルコト能
ハサルモノ
二 御手山中ノ諸色山又ハ請所山タリシ證據アルモノ
三 其他官有スリシ證據アルモノ
前項ノ規定ニ拘ハラズ土地臺帳ノ更正ヲ爲サ、リシモノハ其ノ下渡ヲ爲スヘシ
第四條 下渡ヲ爲スヘキ土地森林原野ノ位置區域ハ地租改正ノ際調製シタル字圖ニ依ルヘシ
但其ノ字圖判明ナラサルトキハ明治十一年調製ノ官林圖、地押調査圖、官林境界調査圖及
實況ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ
第五條 下渡ヲ受ケタル者ハ其ノ下渡處分ニ因リテ權利ヲ取得スルモノトス
第六條 下渡ヲ受ケタル者ハ其ノ土地森林原野ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス
第七條 下渡ヲ爲スヘキ土地森林原野ニ官木アルトキハ其伐採及搬出ヲ終ハルマテ無償ニテ

○告示第九十四號(三十三年四月二十二日)
本縣下山林特別處分例左ノ通定メラル

宮崎縣山林特別處分例

- 第一條 地租改正處分ニ依リ民有ニ査定シタル土地森林原野ニシテ明治十四年ヨリ全二十三年ニ至ル官林境界調査ニ依リ出願又ハ命令ヲ以テ官林ニ編入シ現ニ國有ニ屬スルモノ、内
誤認ノ明確ナル箇所ハ本例ニ依リ民有ニ下渡スヘシ
- 第二條 下渡ハ官林ニ編入シタル當時ノ所有者又ハ相續人ニ之ヲ爲スヘシ但未タ土地臺帳ノ
更正ヲ爲サ、リシモノハ現ニ所有者トシテ臺帳ニ記載セラレタル者ニ下渡スヘシ
- 第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ下渡ヲ爲スヘカラス
 - 一 明治十一年調製ノ官林臺帳ニ登録シタルモノニシテ民有タリシコトヲ確認スルコト能
ハサルモノ
 - 二 御手山中ノ諸色山又ハ請所山タリシ證據アルモノ
 - 三 其他官有スリシ證據アルモノ
- 前項ノ規定ニ拘ハラズ土地臺帳ノ更正ヲ爲サ、リシモノハ其ノ下渡ヲ爲スヘシ
- 第四條 下渡ヲ爲スヘキ土地森林原野ノ位置區域ハ地租改正ノ際調製シタル字圖ニ依ルヘシ
但其ノ字圖判明ナラサルトキハ明治十一年調製ノ官林圖、地押調査圖、官林境界調査圖及
實況ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ
- 第五條 下渡ヲ受ケタル者ハ其ノ下渡處分ニ因リテ權利ヲ取得スルモノトス
- 第六條 下渡ヲ受ケタル者ハ其ノ土地森林原野ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス
- 第七條 下渡ヲ爲スヘキ土地森林原野ニ官木アルトキハ其伐採及搬出ヲ終ハルマテ無償ニテ

之ヲ使用スルモノトス

第八條 地方長官ハ左ノ書類ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

一 地租改正ノ爲メ舊宮崎縣ニ提出シタル書上及保證書ノ類

二 明治十三年鹿兒島縣令ニ於テ指令シタル開申書又ハ竿次帳

三 地租改正ノ際調製シタル地價帳又ハ地券臺帳

四 其ノ他下渡處分上必要ナル書類

第九條 大林區署長ハ明治三十三年七月三十一日マテニ地方長官ヲ經由シテ別紙第一號書式

ノ申立書ヲ差出サシムヘシ

第十條 大林區署長ハ經伺ノ上處分ヲ爲スヘシ

下渡ヲ爲スヘキモノハ別紙第二號書式ニ依リ地方長官ヲ經由シテ下渡證ヲ申立人ニ交付ス

ヘシ

別紙

第一號書式

郡村大字字地番

一 地目反別

一 申立ノ事由(證據書類アルトキハ之ヲ添付スヘシ)

右ノ事由ニ因リ御下渡ノ義申立候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

鹿兒島大林區署長氏名殿

第二號書式

下 渡 證

住 所

申 立 人 氏

名

郡村大字字地番

一 地目反別

右ハ今般(左記ノ條件ヲ以テ)官林ヲ解除シ民有ニ下渡ス

年 月 日

鹿兒島大林區署長氏名印

○告示第二百十一號(三十三年十一月十六日)
宮崎縣山林特別處分例第九條ノ申立書明治三十三年十二月三十一日マテニ地方長官ニ差出シ
タルモノハ大林區署長ニ於テ之ヲ受理ス
前項ノ期限ヲ經過シタルモノハ之ヲ受理セス右期間ハ再ヒ延期セス

○訓令第十五號(三十五年二月二十一日)
陸地測量部ニ於テ施行スル陸地測量ノ爲メ各地ニ建設シアル測量標保管ノ義ハ明治二十九年訓令第百十一號陸地測量諸標保管方法ニ規定セル所ナリ然ルニ近來該標保管確實ナラサル所往々有之爲メニ測量作業ノ進歩ヲ妨クルコト尠ナラス依テ將來特ニ注意ヲ加ヘ測量標保管ニ關スル法令ヲ遵守シ測量標保管ノ確實ヲ勉ムヘシ

警察署 警察分署 町村役場

○土地臺帳規則施行細則改
正ノ結果告示第三百五十四
號消滅ニ付土地臺帳原本添
付セシムルニ及バズ

○訓令第九十號(三十五年十
二月十六日)

町 村 役 場

當應管理ニ屬スル官有土地ノ拂下又ハ無代下渡ヲ受ケタルモノ明治三十二年八月宮崎縣令第五
十六號ニ依リ該地所ノ登記請求願書ニ奥印ヲ請フル其ノ既ニ地價設定済ニシテ本年三月告示第
三百五十四號ニ依リ土地臺帳ノ原本添付ナキモノハ之ヲ添付セシムヘシ
前項ノ地所地價設定未済ナルルル其旨ヲ副申シ又地價設定済ニシテ地目反別ニ異動ヲ生シタ
ルルル指合書(違書)(契約書)記載ノ地所ニ相違ナキ旨ヲ副申スヘシ

地
理

五三

○告示第二百三十一號(三十八年八月二日)
明治三十三年四月本縣告示第九十四號ヲ以テ告示シタル本縣山林特別處分例ニ依リ下渡サルヘ
キ土地森林原野ハ本年八月三十一日マテニ鹿兒島大林區署長ヲシテ各申立人ニ豫告セラルヘ
キ旨命令アリタリ

○告示第百十五號(三十七年四月十四日)
從前大林區署ニ部分林届提出ノモノ並ニ明治三十一年七月本縣告示第百四十七號ニ依リ申出ニ
係ル部分林調査事務ハ四月十五日ヲ以テ鹿兒島大林區署ニ引繼クコトトナリタルニ付全日以
後該事務ニ關スル總テノ書類ハ同署ニ提出スヘシ

特別民法ニヨリ收入印紙一
錢ノ増貼ヲ要ス

○告示第百八十九號(三十七年六月二十七日)

個人又ハ公共團體ヨリ土地ヲ寄附シ又ハ上地セントスルトキ並ニ道路堤塘其ノ他ニ要スル潰
地ヲ賣渡シタル場合ニ於テハ願書又ハ賣渡證ニ左記書式ノ承諾書及土地登記濟證ヲ添ヘ當廳
ニ差出スヘシ但シ上地及寄附願書ハ地元町村役場經由ヲ要ス
前項寄附・上地願書・賣渡證・承諾書ハ土地所有者及區裁判所、出張所ノ登記管轄區域異ナ
ル毎ニ別紙ニ調製シ且ツ書類中一、二、三、十ノ數字ハ孰レモ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用ソ
ヘシ但シ抵當權・質權設定ノ土地ニ付テハ願書又ハ賣渡證差出前ニ其ノ抹消登記ヲナスヘシ
書式

二錢
印紙

何郡何町大字何字何番

一何(地)何反歩

右拙者所有地ニ候處國有ニ所有權移轉ノ登記承諾候也

何郡何町大字何何當

年 月 日

何

某

地 租

五七

○告示第九十六號(三十七年七月四日)

明治三十一年七月宮崎縣告示第四百七十七號部分林調查出願規程ニヨリ出願シタル部分林調査ニ付左ノ通り鹿兒島大林區署ヨリ通知アリタリ

- 一 出願期限マテニ提出シタル部分林調査願ニシテ調査未了ノモノハ自今鹿兒島大林區署ニ於テ調査スルコト
- 一 出願者ハ總テ鹿兒島大林區署ノ指揮ニ從フヘキコト

○宮崎縣令第四十四號(三十七年八月一日)
官有土地、水面及產物處分規程左ノ通り定ム

官有土地、水面及產物處分規程

第一章 總 則

第一條 內務省主管ニ係ル官有土地、水面ノ貸付、使用、賣拂又ハ水面ノ埋立若ハ土石、砂利其ノ他水陸ノ生産物ノ賣拂ヲ請ハントスル者ハ本規程ニ依リ願書ニ通テ作成シ之ニ實測圖(三斜丈量圖)ニシテ四至接續地ノ字、地番、地目、官民有ノ區別等ヲ記スヘシ)ヲ添付シ地元町村役場ヲ經由シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 郡、町、村ノ出願ニ付テハ願書ニ郡、町、村會決議書ノ謄本竝ニ費用支出ノ方法書ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ハ郡、町、村以外ノ公共團體又ハ組合ノ出願ニ之ヲ準用ス

第三條 數人共同シテ出願セントスルトキハ總代人ヲ選定シ願書ニ總代人署名捺印シ委任狀ヲ添付スヘシ

第四條 貸付、使用、賣拂及埋立ノ許可ヲ得タルトキハ直ニ保證人ヲ選定シ以下各章ノ規定ニ從ヒ請書又ハ契約書ヲ作成シ地元町村役場ヲ經由差出スヘシ

郡、町、村其ノ他公共團體ノ出願及土地、水面、產物ノ賣拂ニシテ豫約賣拂、年期賣拂以外ノ出願ニ付テハ保證人ヲ要セス

第五條 左ニ掲クルモノハ保證人ト爲スコトヲ得ス

- 一、本縣内ノ公民ニ非ラサル者及公民權停止中ノモノ
- 二、家資分産又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得カル者又ハ前ニ身代限ノ處分ヲ受ケ未タ

辨償ノ義務ヲ了ヘサル者

第六條 借受人、使用人、買受人及埋立人ハ物件引渡以前ニ其ノ物件ニ關シ一切ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 貸付料金、使用料金又ハ賣却代金ハ納入告知書ニ記載シタル期限内ニ指定ノ金庫ニ納付スヘシ

第八條 借受人、買受人、使用人又ハ埋立人ニシテ本規程ノ各條項ヲ履行セサルトキハ保證人ハ之ニ代リ義務履行ノ責ニ任スルモノトス

第九條 保證人死亡又ハ第五條ノ各號ニ抵觸シ若ハ保證人其ノ義務ヲ盡ス能ハサル事實生シタルトキハ借受人、買受人、使用人、埋立人ハ更ニ第五條ニ抵觸セザル保證人ヲ選定シテ

連署届出ツヘシ

第十條 本規程ニ於テ產物ト稱スルハ官有土地、水面ニ屬スル土石、砂利並水陸ノ生産物ヲ總稱ス

第十一條 本規程ニ依リ出願許可ヲ受クヘキモノニシテ無願ニテ官有土地ヲ開墾、使用シ若ハ水面ノ埋立、使用ヲ爲シタルトキハ損害ヲ辨償セシメ仍ホ知事ニ於テ期限ヲ指定シ違犯者ノ費用ヲ以テ原狀回復ヲ命スルコトアルヘシ

第二章 土地、水面ノ貸付

第十二條 明治二十三年七月勅令第三百三十五號官有地特別處分規則ニヨリ土地、水面ノ貸付ヲ請ハントスル者ハ第二號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

願地ノ現形ヲ若シク變更シ又ハ願地ニ工作物ヲ設ケントスルハ其ノ設計仕様書ヲ添付スヘシ

第十三條 貸付ノ許可ヲ得タルハ第二號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第十四條 貸付ヲ許可シタル土地、水面ハ請書差出ノ日ヲ以テ借受人ニ引渡シタルモノトス

第十五條 法令ノ施行ニヨリ又ハ公益上必要ナリト認ムルハ何時ニテモ知事ハ貸付許可ノ全部又ハ一部ニ對シ制限ヲ付シ又ハ取消シ若ハ貸付期間ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條 貸付ヲ受ケタル土地、水面ニシテ期間中事故ノ爲メ返還セントスルハ其事由ヲ具シ速カニ届出ツヘシ満期後繼續貸付ノ希望ナキハ亦同シ

第十七條 借受人ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、貸付區域内公衆ノ視認シ易キ位置ニ使用目的、反別、期間及借受人氏名ヲ記載シタル長四尺以上末口四寸以上ノ標柱ヲ建設スヘシ

二、貸付ヲ受ケタル土地、水面ハ許可ヲ得シテ目的及用法ヲ變更シ又ハ他ニ轉貸シ若ハ借權ヲ讓渡スコトヲ得ス

三、貸付ヲ受ケタル地内ニ在ル國ニ屬スル立竹木其ノ他ノ物件ハ拂受又ハ特約ヲ爲スニ非サレハ之ヲ採收シ若ハ使用スルヲ得サルハ勿論貸付期間中ハ保護ノ義務アルモノトス

四、借受人死亡シタルハ直ニ其ノ承繼人ヨリ届出ツヘシ

第十八條 借受人前條ニ定ムル事項ヲ遵守セサルハ許可ヲ取消シ原狀ニ回復セシメ返還ヲ命スルコトアルヘシ此場合ニ於テ借受人ノ所有ニ係ル物件存在スルハ相當ノ期間ヲ指定シ之ヲ除去セシムヘシ但シ取消ヨリ生スル損害アルモ補償ヲ求ムルコトヲ得ス

第十九條 貸付區域内ニ在ル國ニ屬スル立竹木其ノ他ノ物件ヲ毀損、枯死セシメ其ノ他損害ヲ加ヘタルハ借受人ヨリ其ノ損害額ヲ辨償セシムヘシ

第二十條 貸付満期後又ハ第十八條ノ期間満了後借受人ニ於テ尙ホ除去セサル物件アルハ

知事ハ之ヲ除去シ若ハ第三者ヲシテ除去セシメ其ノ費用ヲ徴收シ又ハ所有權ヲ拋棄シタルモノトシ處分スルコトアルヘシ

第二十一條 貸付満期後尙繼續シテ貸付ヲ請ハントスル者ハ満期前三十日以内ニ第三號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

第二十二條 前條繼續貸付ノ許可ヲ得タルルハ第四號書式ノ請書ヲ差出スヘシ
第三章 土地、水面ノ使用

第二十三條 明治二十三年^{十一月}勅令第二百七十六號官有地取扱規則第十一條ニヨリ直接公用ニ供シタル官有土地、水面ヲ有料又ハ無料ニテ使用セントスル者ハ第五號書式ノ願書ニ使用^五方法書ヲ添付スヘシ但シ明治三十五年^{五月}農商務省令第七號漁業法施行規則第二條ノ定置漁業第七種、第三條ノ區劃漁業第一種及第二種ニ該當スル漁業免許出願ニ伴ヒ水面ヲ使用セントスルモノハ明治三十五年^{八月}宮崎縣告示第八十五號ニヨリ出願スヘシ

第二十四條 左ノ各號ニ該當スルモノハ本章ノ規定ニ依ルノ限ニ在ラス
一、舊慣ニ依リ捕魚採藻ノ業ヲ營ムモノ

二、明治二十年^{九月}宮崎縣令第六十號街路取締規則第八條ニヨリ街路ヲ一時使用セントスルモノ

三、明治三十七年^{三月}宮崎縣令第十八號河川港灣取締規則第三條第一項、第四號及第五號ニヨリ河川敷地及水面ヲ使用セントスルモノ

四、郡、町、村其ノ他公共團體ニ於テ修理保存費ヲ負擔シタル官有土地ヲ使用セントスルモノ

第二十五條 使用ノ許可ヲ得タルルハ第六號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第二十六條 第十四條乃至第二十條ノ規定ハ使用人ニ之ヲ準用ス

第二十七條 水火災其ノ他急迫ノ場合ニ於テ必要ト認ムルルハ知事ハ直ニ使用區域内ノ物件ヲ除去セシメ又ハ除去スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ損害アルモ補償ヲ求ムルコト得ス

第二十八條 使用取消若ハ満期ノ場合ニ於テ使用中該土地、水面ノ原形變更ノ爲メ復舊ヲ要スルル者ハ不潔ニ付シタルトキハ相當ノ修理若ハ掃除ヲ命スルモノトス

使用人又ハ保證人前項ノ義務ヲ履行セサルルハ知事ニ於テ之ヲ執行シ若ハ第三者ヲシテ執行セシメ其ノ費用ハ使用人ヨリ徴收ス

第二十九條 使用満期後尙繼續シテ使用セントスル者ハ満期前三十日以内ニ第七號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

第三十條 前條繼續使用ノ許可ヲ得タルトキハ第八號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第四章 土地、水面ノ賣渡

第三十一條 明治二十三年^{十一月}勅令第二百七十六號官有地取扱規則第七條ニヨリ官有土地ノ無料貸付ヲ受ケテ開墾シ成功ノ後賣拂ヲ請ハントスル者ハ第九號書式ノ願書ニ事業方法書

收支豫算書ヲ添付スヘシ

第三十二條 前條豫約賣拂ノ許可ヲ得タルトキハ第十號書式ノ請書ヲ差出スヘシ但シ開墾ニ要スル土地ハ請書差出ノ日ヲ以テ引渡シタルモノトス

第三十三條 第十七條及第十九條ノ規定ハ豫約賣渡人ニ之ヲ準用ス

第三十四條 開墾事業成功シタルトキハ第十一號書式ノ成功届ヲ差出シ成功検査ヲ受クヘシ

第三十五條 前條検査ノ際開墾事業成功セサルトキ又ハ成功ノ見込ナシト認ムルトキハ返地ヲ命スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ土地ニ開墾人ノ物件アルトキハ相當ノ期間ヲ指

定シ之ヲ除去セシムヘシ但シ返地ヨリ生スル損害アルモ補償ヲ求ムルコトヲ得ス
第三十六條 返地ヲ命シタル場合ニ於テ指定ノ期間後尙除去セサル物件アルトキハ知事ニ於
テ之ヲ除去シ若ハ第三者ヲシテ除去セシメ其ノ費用ヲ徴收シ又ハ所有權ヲ拋棄シタルモノ
トシ處分スルコトアルヘシ

第三十七條 明治二十三年七月勅令第三百三十五號官有地特別處分規則ニヨリ官有地ノ賣拂ヲ請
ハントスル者ハ第十二號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

第三十八條 前條ニヨリ賣拂ノ許可ヲ得タルトキハ第十三號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第三十九條 第三十四條ニヨリ開墾成功ノ検査ヲ經タル土地及第三十八條ニヨリ賣拂ノ許可
ヲ得タル土地ハ代價拂込ノ日ヲ以テ買受人ニ地所ヲ引渡シタルモノトス

第四十條 前條ニヨリテ引渡ヲ受ケタル土地ハ直ニ明治三十二年八月宮崎縣令第五十六號ニヨ
リ登記請求ノ願書ヲ差出スヘシ

第五十條 水面ノ埋立
第四十一條 明治二十三年十一月勅令第二百七十六號官有地取扱規則第十二條ニ依リ官ニ屬ス
ル公有水面ヲ埋立テ民有地トナサントスル者ハ第十四號書式ノ願書ニ埋立方法及設計書
ヲ添付スヘシ

前項埋立ニシテ工事重要ナリト認ムルトキハ豫メ保證人ヲ選定セシムルコトアルヘシ此ノ
場合ニ於テハ相當資産ヲ有スルモノニシテ本規程第五條ニ抵觸セサル者二名以上ヲ定メ願
書ニ連署セシムヘシ

第四十二條 官ニ屬スル私有水面ヲ埋立テ成功ノ後賣拂ヲ受ケントスル者ハ第十五號書式ノ
願書ニ埋立方法及設計書ヲ添付スヘシ

保證人ヲ要スル場合ニ於テハ前條第二項ノ例ニ依ル
第四十三條 公有水面埋立ノ許可ヲ得タルトキハ第十六號書式ノ請書ヲ私有水面埋立ノ許可
得タルトキハ第十七號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第四十四條 埋立工事ニ著手シタルトキハ第十八號書式ノ著手届ヲ成功シタルトキハ第十九
號書式ノ成功届ヲ差出スヘシ

第四十五條 埋立ノ許可ヲ與ヘタル後ト雖モ成功認可ヲ與フルマテノ間ニ於テ其埋立工事ニ
シテ公害ヲ生シ若ハ之ヲ生セントスルノ虞アリト認ムルトキハ又ハ法令ノ結果ニ依リ若ハ知
事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ埋立人ニ命シテ之ヲ除去セシメ又ハ之ヲ豫防スル
ニ必要ナル設備ヲ爲サシメ若ハ無償ニテ許可ヲ取消シ又ハ命令事項ヲ増減變更スルコトア
ルヘシ

第四十六條 著手ノ期限ニ至リ著手セズ成功ノ期限ニ至リ成功セズ若ハ任意ノ目的ヲ變更シ
又ハ工事ヲ廢止シ其ノ他命令事項ニ違ハサルトキハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第四十七條 天災事變其ノ他正當ノ理由ニ因リ豫定ノ期間内ニ著手若クハ成功シ難キ事情ア
ルトキハ其ノ事由ノ止ミタル後二月内ニ埋立人ヨリ出願スルトキハ相當ノ延期ヲ與フル
コトアルヘシ

第四十八條 道路、溝渠、物揚場等公共ノ用ニ供スヘキ部分ハ其ノ區域ヲ定メ置キ埋立成功
ノ後無償ニテ官有トシ其ノ他ハ埋立人ノ所有トス

第四十九條 埋立區域ヲ數區ニ分チ各區成功期限ヲ異ニスルモノハ殘工事ノ成功ニ妨ケナク
且公益上害ナキ限リハ其ノ成功シタル區域毎ニ成功認可ヲ與フルコトアルヘシ

第五十條 埋立人ハ知事ノ許可ヲ受クルニアラサレハ許可ニヨリテ生スル權義ヲ擔保貸付ニ

供シ又他人ニ移スコトヲ得ス

第五十一條 埋立工事ノ設計及方法ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五十二條 本規程第十七條第一號及第四號ノ規定ハ水面埋立ニ準用ス

第五十三條 公有水面ノ埋立ハ成功認可ノ日ヲ以テ埋立人ノ所有ニ歸シタルモノトシ私有水面ノ埋立ハ代金拂込ノ日ヲ以テ埋立人ニ土地ヲ引渡シタルモノトス

第五十四條 第四十五條ニ依リ許可ヲ取消シタル場合ニ於テ既成埋立地アルトキハ埋立人ハ知事ニ出願シ其ノ指示スル所ニ從ヒ相當修築ヲ加ヘ所有ノ認可ヲ請フコトヲ得此場合ニ於テハ第四十八條ヲ適用ス

第五十五條 第四十六條ニ依リ許可ヲ取消シタル場合ニ於テハ既成埋立地ハ無償ニテ國有ニ歸セシムルコトアルヘシ但シ知事ニ於テ既成埋立地若ハ既成工事又ハ現存スル物件ニシテ

危害ヲ及ホスノ虞アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シ之ヲ除却セシムヘシ

第五十六條 本規程ニ基キ爲シタル處分ニ依リ生スル義務ヲ履行セサルトキ又ハ之ヲ履行スルモ其ノ方法宜キヲ得サル片ハ知事ニ於テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ生シタル費用及本規程ニ基キ爲シタル處分ニ依リ埋立人ニ於テ損害ヲ受クルモ其ノ補償ヲ求ムルコトヲ得ス

第六章 產物ノ賣拂

第五十七條 官有諸產物ノ賣拂ヲ請ハントスル者ハ第二十號書式ノ願書ニ圖面ヲ添付スヘシ

第五十八條 官有產物單位ノ稱呼ハ左ノ如シ

一、用材ハ尺メヲ以テ單位トシ拾貳立方尺(二尺角長二間)ヲ以テ一尺メトス

二、薪炭材ハ棚ヲ以テ單位トシ長、幅六尺高三尺ノ實積ヲ以テ一棚トス

三、根株ハ個ヲ以テ單位トシ其ノ材積ハ口徑ノ三乘積ヨリ算定ス

四、萱、秣、下草、鹿菜ノ類ハ束ヲ以テ單位トシ三尺繩メヲ以テ一束トス

五、樹實ハ升又ハ貫ヲ以テ單位トス

六、砂利、栗石、灰石、粘土、白土ノ類ハ坪ヲ以テ單位トシ六尺立方ヲ以テ一坪トス但轉石ハ個ヲ以テ單位トス

七、前掲以外產物ノ單位ハ地方ノ稱呼ニ依ル

第五十九條 代金百圓未満ノ物件ニ對シ賣拂ノ許可ヲ得タル片ハ第二十一號書式ノ請書ヲ差出スヘシ

第六十條 代金百圓以上四百圓未満ノ物件賣拂ヲ許可シタル片ハ契約保證金トシテ其ノ百分ノ十ヲ納付セシメタル後契約ヲ締結ス但シ契約書ハ前條請書ヲ以テ代用スルコトアルヘシ

前項契約保證金ハ買受人ノ請求ニ依リ之ヲ代金ニ充當ス但シ買受人カ殘額代金ヲ拂込マサル片ハ契約ヲ無効トシ契約保證金ハ違約金トシテ徵收ス

第六十一條 區域ヲ限リ物件ノ賣拂ヲ受クタル片ハ請書又ハ契約書差出ノ後直ニ區域内公衆ノ視認シ易キ位置ニ買受物件名、區域及買受人氏名ヲ掲ケタル標柱(長四尺以上末)ヲ建設スヘシ

第六十二條 賣拂物件ノ材積、數量若ハ品質ニ錯誤アリ又ハ其ノ物件ニ隠レタル瑕疵アルトキハ買受人ノ請求ニヨリ契約ヲ變更スルコトアルヘシ

第六十三條 立竹木、生草等ノ根株ハ賣渡外トス但シ特別ノ契約アルモノハ此ノ限ニアラス

第六十四條 賣拂タル產物ハ代金拂込ノ日ヲ以テ買受人ニ引渡シタルモノトス但シ年期賣拂

ノ產物ハ各年度分代金拂込ノ日ヲ以テ其ノ年度内ニ採收スル物件ヲ引渡シタルモノトス
第六十五條 物件引渡後伐採又ハ採收ノ爲メ公益ヲ害シ若ハ害スヘキ虞アルカ又ハ公益上存
置ス可キ必要ヲ生シタルトキハ許可ヲ取消スヘシ此ノ場合ニ於テ既ニ伐採又ハ採取シタル
物件ニ對スル代金ハ還付セズ

前項ノ場合ニ於テ買受人ニ損害アルモ之カ補償ヲ求ムルコトヲ得ス
第六十六條 天災事變其ノ他正當ノ理由ニ因リ買受人ニ於テ買受物件ヲ搬出期間内ニ搬出シ
能ハサルトキハ直ニ其ノ事由ヲ具シ搬出ノ延期ヲ申請スルコトヲ得

第六十七條 搬出滿期後尙買受人ニ於テ伐採又ハ採收セサル物件アルトキハ其ノ所有權ヲ拋
棄シタルモノト看做シ處分スルコトアルヘシ

第六十八條 買受人ニ於テ買受物件ヲ伐採又ハ採收シタル爲メ地形ノ變更、地盤ノ破壊ヲ生
シ又ハ危險ノ虞アルトキハ復舊又ハ修繕若ハ豫防ニ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ但
シ其ノ費用ハ買受人ノ負擔トス

買受人又ハ保證人ニ於テ前項ノ義務ヲ履行セザルトキハ知事ニ於テ之ヲ執行シ又ハ第三者
ヲシテ執行セシメ其ノ費用ハ買受人ヨリ之ヲ徵收ス

第七章 料金又ハ代金ノ徵收

第六十九條 官有土地、水面ヨリ生スル貸付料金、使用料金、賣拂代金ノ徵收期ハ左ノ各號
ニ依ル

- 一、年ヲ以テ設定シタル貸付、使用、土石其ノ他產物賣拂契約ニ屬スル料金及代金ハ甲年
四月ヨリ乙年三月迄ヲ一期トシ甲年四月中ニ徵收ス但シ四月以後新ニ貸付使用又ハ賣拂
契約ヲ設定シタルモノハ初期分ニ限り契約設定ノ日ヨリ三十日以内ニ徵收ス

二、月又ハ日ヲ以テ設定シタル貸付、使用契約ニ屬スル料金ハ契約設定ノ日ヨリ三十日以
内物件使用前ニ徵收ス

三、隨時ノ賣拂契約ニ屬スル代金ハ契約設定ノ日ヨリ三十日以内物件引渡前ニ徵收ス
第七十條 有期設定ニ屬スル貸付料金、使用料金及賣拂代金ノ徵收額算定方ハ左ノ各號ニ依
ル

- 一、年ヲ以テ設定シタル貸付、使用及土石賣拂契約ノ四月ニ起リ若ハ三月ニ滿期トナルモ
ノハ全年分ヲ算定シ五月以後ニ起リ若ハ二月以前ニ滿期トナルモノハ月割ヲ以テ算定ス
- 二、年ヲ以テ設定シタル產物ノ賣拂契約ハ初期、終期ヲ問ハズ總テ全年分ヲ算定ス
- 三、月ヲ以テ設定シタル貸付及使用契約ハ初月、終月ヲ問ハズ總テ全月分ヲ算定ス

第七十一條 有期設定ニ屬スル貸付、使用及賣拂契約ヲ該期限中解除シタルトキハ其ノ料金
及代金免除方ハ左ノ各號ニ依ル

- 一、年ヲ以テ設定シタル貸付、使用及土石賣拂契約ヲ政府ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ其
ノ月ヨリ免除シ對手人ノ都合又ハ契約違反ニ依リ解除シタルトキハ其ノ翌月ヨリ免除ス
- 二、年ヲ以テ設定シタル產物ノ賣拂契約ヲ政府又ハ對手人ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ該
期ニ物件ヲ採收セシヤ否ヤヲ調査シ採取前ナルトキハ其ノ年度ヨリ代金ヲ免除シ採取後
ナルトキハ物件ノ年額數量ヨリ採取數量ヲ控除シタル殘數量ニ應ジテ免除シ對手人ノ契約
違反又ハ季節物ノ賣拂ニシテ解除ノ當時既ニ季節經過シタルトキハ其ノ翌年度ヨリ免除
ス
- 三、月ヲ以テ設定シタル貸付及使用契約ヲ政府ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ其ノ月ヨリ免
除シ對手人ノ都合又ハ契約違反ニ依リ解除シタルトキハ其ノ翌月ヨリ免除ス

四、日ヲ以テ設定シタル諸貸付及使用契約ヲ政府又ハ對手人ノ都合ニ依リ解除シタルハ其ノ日ヨリ免除ス

第八章 附 則

第七十二條 町、村長ニ於テ本規程ニ依ル土地、水面ノ貸付、使用、賣拂又ハ水面ノ埋立若ハ土石、砂利並水陸生産物ノ賣拂願書ヲ受領シタルハ左ノ各號ノ事項ヲ調査シ意見ヲ付シ七日以内ニ之ヲ進達スヘシ

一、出願ノ目的確實ナルヤ否

一、貸付料金、使用料金又ハ賣拂代金ノ適否

一、國土保安其ノ他公共ノ利害ニ關シ支障ノ有無

一、道路、堤塘、並木敷ノ使用、道路、堤塘、用悪水路、土居敷等ニ屬スル竹木其ノ他賣拂ニ付町村ニ於テ修理保存費負擔ノ有無

第七十三條 許可ノ指令書町村役場ニ到達シタルトキハ町、村長ハ五日以内ニ願人ヲ召喚シ指令書ヲ示シテ請書ヲ作成セシムヘシ

前項請書ハ町、村長ニ於テ本規程ノ書式ニ適合スルヤ否ヤ、其ノ印影ハ願書ニ押捺シタルモノト同一ナルヤ否ヤ、又保證人ハ本規程第五條ノ各號ニ抵觸スルコトナキヤ否ヤヲ檢シ適合セザルモノハ訂正更改セシメ改印シタルモノハ改印證明書ヲ添付セシムヘシ

第七十四條 指令書ハ、町村長ニ於テ請書ト引換ニ願人ニ交付シ請書ニハ保證人資格證明書ヲ添付セシメ三日以内ニ當廳ニ送付スヘシ

保證人死亡又ハ資格喪失等ニヨリ更ニ保證人ヲ選定シ届出タル場合モ亦資格證明書ヲ要ス

第七十五條 願人故ナク請書ヲ差出サルトキハ町、村長ハ其ノ旨ヲ具シ指令書ヲ返還スヘシ

第七十六條 町、村長ニ於テ官有土地ノ豫約賣拂、公私有水面ノ埋立ニ係ル成功認可ノ達書ヲ願人ニ交付シタルトキハ三日以内ニ第二十二號書式ニ依リ當廳ニ報告スヘシ

第七十七條 本規程ハ明治二十四年六月宮崎縣訓令第六十一號ニ依リ認可申請ノ場合ニ準用ス

第七十八條 本規程ハ明治三十七年八月十五日ヨリ施行ス

第七十九條 左ニ掲クル命令及告示ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十四年一月縣令第五號水面埋立心得

同年三月縣令第三十號官有土地貸渡手續

同年三月縣令第三十一號官有土地、森林、原野收入金徵收規程

同年五月縣令第三十三號官有土地賣渡手續

同年八月縣令第四十七號官有森林、原野及產物特賣、私有水面埋立願書ニ通差出方

同二十四年九月訓令第二百五號官有土地、水面ノ拂下、貸下及使用出願ニ對シ副申方

同二十六年六月訓令第百號官有土地賣渡手續ニ依リ拂下地所引渡方

同二十九年九月訓令第百九號官有土地、水面ノ拂下、貸下、產物拂下、使用埋立等許可ノ指令書交付報告方

同三十年四月告示第六十一號官有產物特賣規程

同年全訓令第六十五號官有產物特賣願書經由及物件引渡ノ節取扱方

同年十二月告示第二百二十三號官有土地、水面使用規程

同年全訓令第四百四十八號官有土地、水面使用出願ニ對シ副申方

第一號書式

官有地貸付願

何郡何町大字何字何番何(地)何反歩(ノ内)

一 實測反別何反歩

此貸付期間 自明治何年何月(自明治何年何月何日) 至全何年何月(至全何年何月何日)
此貸付料 壹ヶ年ニ付金何程(年期貸付ニアラサルモハ此貸付料金何程トシ全額ヲ記スヘシ)
但シ壹反歩ニ付金何程(年期貸付ニアラサルモハ但シ壹反歩ニ付壹年金何程ノ制ト記スヘシ)
右何々(貸付ヲ受ケル目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ貸付相成度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號
官有土地ノ水面及物産處分規程ニ依リ實測圖(並設計仕樣書)相添此段相願候也

何郡何町大字何番何(寄留)

(寄留者ハ本籍何郡何町大字何番何ト併記スヘシ以下全シ)

明治何年何月何日

願人 何

某 ㊦

(總代人ナルトキハ願人何某外何人總代人ト肩書スヘシ以下全シ)

下全シ)

宮崎縣知事宛

第二號書式

特別陸法ニヨリ收入印紙壹錢増貼ヲ要ス

貳錢 印紙

請書

何郡何町大字何字何番何(地)何反歩(ノ内)

一 實測反別何反歩

此貸付期間 自明治何年何月(自明治何年何月何日) 至全何年何月(至全何年何月何日)

此貸付料 壹ヶ年ニ付金何程(年期貸付ニアラサルモハ此貸付料金何程トシ全額ヲ記スヘシ)

右何々(願書記載ノ目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ貸付ノ義明治何年何月何日指令何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地・水面及物産處分規程(並左記條項 指令書ニ許可ノ條件ヲ付シアルモハ記載例)ハ總テ誠實ニ遵守可致候依テ請書差出候也

何郡何町大字何番何(寄留)

借受人 何

某 ㊦

全

上 保證人 何

某 ㊦

宮崎縣知事宛

指令書ニ許可ノ條件ヲ付シアルトキハ左ノ通り記スヘシ以下全シ)

一 何々 記

第三號書式

官有地繼續貸付願

何郡何町大字何字何番何(地)何反歩(ノ内)

一 實測反別何反歩

右何々(最初許可ヲ得タルトキノ目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ本月(何日)迄貸付相成候處尙引續向何ヶ年(何ヶ月又ハ何日)間貸付相成度此段相願候也

何郡何町大字何番何(寄留)

願人 何

某 ㊦

明治何年何月何日

特別税法ニヨリ収入印紙一
錢増貼ヲ要ス

宮崎縣知事宛

第四號書式

貳錢
印紙

請書

何郡何村大字何字何番何(地)何反歩(ノ内)

一 實測反別何反歩

此貸付期間 自明治何年何月何日(自明治何年何月何日) 至全何年何月何日(至全何年何月何日)

此貸付料 一ヶ年ニ付金何程(付料金何程トシ全額ヲ記スヘシ)

右何々(願書記載ノ目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ明治何年何月(何日)迄貸付相成居候處今般前記ノ通り繼續貸付ノ義明治何年何月何日指合何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規程並左記條項(指合書ニ許可條件ヲ付)ハ總テ誠實ニ遵守可致候依テ請書差出候也

何郡何村大字何番何(寄留)

明治何年何月何日

借受人 何

某 印

全 上 保證人 何

某 印

宮崎縣知事宛

第五號書式

官有土地(水面)使用願

何郡何村大字何字何番何(何番田地先水面、何番畑地、何番並松敷何反歩ノ内等詳記スヘシ)

一 實測反別何反歩

此使用期間 自明治何年何月何日(自明治何年何月何日) 至全何年何月何日(至全何年何月何日)

此使用料 壹ヶ年ニ付金何程(原期使用ニアラサルモハ此使)

但シ壹反歩ニ付金何程(歩ニ付壹ヶ年金何程ノ割ト記スヘシ)

右何々(使用ノ目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ使用致度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規程(並全年月三全縣令第十八號河川港灣取締規則)ニヨリ使用方法書及實測圖相添此段相願候也

何郡何村大字何番何(寄留)

明治何年何月何日

願人 何

某 印

宮崎縣知事宛

第六號書式

貳錢
印紙

請書

何郡何村大字何字何番何(何番田地先水面、何番畑地、何番並松敷何反歩ノ内等詳記スヘシ)

一 實測反別何反歩

此使用期間 自明治何年何月何日(自明治何年何月何日) 至全何年何月何日(至全何年何月何日)

此使用料 壹ヶ年ニ付金何程(原期使用ニアラサルモハ此使)

右何々(願書記載ノ目的ヲ記スヘシ)ノ爲メ使用ノ義明治何年何月何日指合何第何號ヲ以テ許

可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規程（並全年
三全縣令第十八號河川港灣取締規則）及左記條項（指合書ニ許可條件ヲ付）ハ總テ誠實ニ遵守可致候
月全縣令第十八號河川港灣取締規則）ハ總テ誠實ニ遵守可致候
依テ請書差出候也

明治何年何月何日

何那何町大字何番地（寄留）

某 印

全 上 何

某 印

宮崎縣知事宛

第七號書式 官有土地（水面）繼續使用願

何那何町大字何字何何々

一實測反別何反步

右何々（最初許可ヲ得タルトキノ目的ヲ記スヘシ）ノ爲メ本月（何日）迄使用許可相成候處尙引
續何々年（何ヶ月又ハ何日）間使用致度此段相願候也

何那何町大字何番地（寄留）

某 印

願人 何

明治何年何月何日 宮崎縣知事宛

第八號書式

印紙 錢

請書

特別徴法ニヨリ收入印紙壹
錢増貼ヲ要ス

何那何町大字何字何何々（何番地水面、何番地河川敷、何番地地、何番地地接）
一實測反別何反步

此使用期間 自明治何年何月何日（自明治何年何月何日）
至全何年何月何日（至全何年何月何日）

此使用料一ヶ年ニ付金何程（年別使用料ニ付サレモ、ハ此使）
右何々（願書記載ノ目的ヲ記スヘシ）ノ爲メ明治何年何月何日（何日）迄使用許可相成居候處今般前

記ノ通り繼續使用ノ義明治何年何月何日指合何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七
年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程（並同年三月同縣令第十八號河川港灣
取締規則）及左記條項（指合書ニ許可條件ヲ付）ハ總テ誠實ニ遵守可致候依テ請書差出候也

明治何年何月何日

何那何町大字何番地（寄留）

某 印

同 上 何

某 印

宮崎縣知事宛

第九號書式 官有地豫約賣拂願

何那何町大字何字何何番何（地）何反步（ノ内）
一實測反別何反步

此素地代價金何程 但シ一反步ニ付金何程
開墾成功期間 自明治何年何月何日
至全何年何月何日

右何々（田又ハ畑等開墾ノ目的ヲ記ス）ニ開墾ノ見込ニ付無料貸付ノ上事業成功ノ後前記代價

ヲ以テ賣拂相成度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程ニヨリ別紙事業方法書、收支豫算書及實測圖相添此段相願候也

何郡何町大字何番何(寄留)

願人 何

某 印

明治何年何月何日
宮崎縣知事宛

第十號書式

⑩
紙
代價金五圓以上ハ印紙稅法ニヨリ相當印紙貼用スルモノトス

請書

何郡何町大字何字何番何(地)何反步(ノ内)

一 實測反別何反步

此素地代價金何程

開墾成功期間 自明治何年何月何日 至全何年何月

右何々(願書記載ノ目的ヲ記ス)ニ開墾ノ見込有之無料貸付ノ上事業成功ノ後前記代價ヲ以テ賣拂ノ義明治何年何月何日指令何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程(並左記條項シテ命書ニ許可條件ヲ付)ハ總テ誠實ニ遵守シ期間中ハ事業方法書ニ從ヒ專ラ開墾ニ從事可致候依テ請書差出候也

何郡何町大字何番何(寄留)

買受人 何

上 全

何郡何町大字何番何(寄留)

買受人 何 某 印

明治何年何月何日

全 上

保證人 何

某 印

宮崎縣知事宛

第十一號書式

開墾成功届

何郡何町大字何字何番何(地)何反步(ノ内)

一 實測反別何反步

右豫約開墾御許可ノ處本日事業成功候ニ付御認可相成度此段及御届候也

何郡何町大字何々番何(寄留)

何

某 印

明治何年何月何日
宮崎縣知事宛

第十二號書式

官有地賣拂願

何郡何町大字何字何番何(地)何反步

一 實測反別何反步

此代價金何程 但シ壹反步ニ付金何程

右何々(賣拂ヲ受クル目的ヲ記ス)ノ爲メ前記代價ヲ以テ賣拂相成度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程ニヨリ實測圖相添此段相願候也

何郡何町大字何番何(寄留)

願人 何

某 印

明治何年何月何日

宮崎縣知事宛

第十三號書式

印紙

(代價金五圓以上ハ印紙稅法ニヨリ相當印紙貼用スルモノトス)

請書

何郡何村大字何字何番何(地)何反步

一實測反別何反步

此代價金何程

右賣拂ノ義明治何年何月何日指合何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程ヲ遵守シ請書差出候也

何郡何村大字何番何(寄留)

明治何年何月何日

買受人 何

某 印

宮崎縣知事宛

第十四號書式

公有水面埋立願

何郡何村大字何字何(何番)地先海面(又ハ何川筋)

一實測面積何萬坪

但シ民有田(畑、鹽田又ハ何々)成(埋立ノ後官民有ノ別アルモノハ左記活版内ノ通り記スヘシ)

内

何坪 官有道路(溝渠、物揚場)敷地成

何坪 民有田(畑、宅地又ハ)成

但シ別紙實測圖面内譯ノ通

第十五號書式

私有水面埋立願

何郡何村大字何字何番何(地)何反步(ノ内)

一實測反別何反步

但シ田(畑、宅地又ハ何々)成(埋立ノ後官民有ノ別アルモノハ左記活版内ノ通り記スヘシ)

内

何反步 道路(溝渠、物揚場)敷地成

何反步 田(畑、宅地又ハ)成

但シ別紙實測圖面内譯ノ通

着手ノ期限 明治何年何月何日

成功ノ期限 明治何年何月何日

相當代價金何程

右前記ノ通り進成ノ見込有之候ニ付埋立成功ノ後(田、畑、宅地又ハ何々成ノ土地)前記代價ヲ

明治何年何月何日

宮崎縣知事宛

願人 何

某 印

以テ豫約賣拂ノ義許可相成度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程ニヨリ別紙埋立方法書、設計書及實測圖相添此段相願候也

何那何町大字何々番地(寄留)

願人 何

某 印

明治何年何月何日
宮崎縣知事宛

第十六號書式

貳錢 印紙

請書

特別稅法ニヨリ收入印紙壹錢増貼ヲ要ス

何那何町大字何字何(何番)地先海面(又何川筋)

一實測面積何萬坪

但シ民有田(畑、鹽田又ハ何々)成(埋立ノ後官民有ノ別アルモノハ左記活版内ノ通り記スヘシ)

内

何坪 官有道路(溝渠、物揚)敷地成

何坪 民有田(畑、宅地又ハ)成

但シ別紙實測圖面内譯ノ通

着手ノ期限 明治何年何月何日

成功ノ期限 明治何年何月何日

右公有水面埋立ノ義明治何年何月何日指令何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規程及命令書ノ趣ハ總テ誠實ニ遵守シ期間中

ハ埋立方法書ニ從ヒ專ラ埋立ニ從事可致候依テ請書差出候也

何那何町大字何何番地(寄留)

埋立人 何

某 印

全上

保證人 何

某 印

宮崎縣知事宛

第十七號書式

印紙(代價金五圓以上ハ印紙稅法ニヨリ相當印紙貼用スルモノトス)

印紙

請書

何那何町大字何字何何番地(目)何反歩(ノ内)

一實測反別何反歩

但シ田成(畑、宅地又ハ何々)成(埋立ノ後官民有ニ分ルハ左記活版内ノ通り記スヘシ)

内

何反歩 道路(溝渠、物揚)敷地成

何反歩 田(畑、宅地又ハ)成

但シ別紙實測圖面内譯ノ通

着手ノ期限 明治何年何月何日

成功ノ期限 明治何年何月何日

代價金何程

右私有水面埋立ノ上(田、畑、宅地又ハ何々成ノ土地)前記代價ヲ以テ豫約賣拂ノ義明治何年何月何日指令何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地水面及產物處分規程(及左記條項)指合書ニ許可條件ヲ付(シアルモノ、記載例)ハ總テ誠實ニ遵守シ期間中ハ埋立方法書ニ從ヒ專ラ埋立ニ從事可致候依テ請書差出候也

明治何年何月何日 何郡何町大字何番地(寄留) 埋立人 何

同上

保證人 何

某 印

第十八號書式

埋立著手届

何郡何町大字何字何(何番)地先海面(又ハ何川筋)

一實測面積何萬坪

(私有水面埋立著手届ノ前書) (右ニ準シ記スヘシ)

右埋立御許可ノ處本日ヨリ事業ニ著手致候間此段及御届候也

何郡何町大字何番地(寄留) 埋立人 何

明治何年何月何日 宮崎縣知事宛

某 印

第十九號書式

埋立成功届

何郡何町大字何字何(何番)地先海面(又ハ何川筋)
一實測面積何萬坪
(私有水面埋立成功届ノ前書) (右ニ準シ記スヘシ)
右埋立御許可ノ處事業本日成功候ニ付御認可相成度此段及御届候也
明治何年何月何日 何郡何町大字何番地(寄留) 埋立人 何
宮崎縣知事宛
第二十號書式
何々賣拂願
何郡何町大字何字何(何番)地(何反歩ノ内) (或ハ何番地先海面若クハ何番地先何川筋等詳記スベシ) 反別何反歩(物件所在ノ面積ナルトキハ面積何万坪ト記スヘシ)
一河々(品)何程(年期買受ノモノハ總數積ヲ掲クヘシ又用材、薪炭材ニ在リテハ本數ヲ掲ク根株ニ在リテハ個數ヲ掲クヘシ) 但シ本年ヨリ明治何年三月迄採取高(年期買受) (此尺ノ何程) (用材買受記載例、薪炭材ナルトキハ此個數何程トシ根株ナルトキハ此三乘積何程トスヘシ) 此代金何程但シ壹坪(尺ノ個)ニ付金何程 (此一ケ年採收高何程) (年期買受) (此一ケ年分代金何程) (記載例)
右何々(賣拂)ヲ受クル目的ヲ記スノ爲メ入用ニ付賣拂相成度明治三十七年八月宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程ニヨリ(別紙實測圖相添)此段相願候也
何郡何町大字何番地(寄留)

明治何年何月何日

宮崎縣知事宛

願人 何

某 印

第二十一號書式

(代價金五圓以上ハ印紙税法ニヨリ相當印紙貼用スルモノトス)

印紙

請書

何郡何村大字何字何番何(地)何反歩ノ内(或ハ何番地先海面若クハ何(番)田池先何川筋等詳記スヘシ)反別何反歩(物件所在ノ面積ナルトキハ面積何)

一何々(品)何程(年期買受ノモノハ惣數計ヲ掲グヘシ又用材、薪炭材ニ在リテハ本數ヲ掲ケ根柢ニ在リテハ個數ヲ掲クヘシ)

(但シ本年ヨリ明治何年三月迄採收高ノ記載例)

(此尺ハ何程用材買受ノ記載例、薪炭材ナルトキハ此冊數何)

此代金何程

(此一ケ年採收高何程ノ記載例)

(此一ケ年分代金何程ノ記載例)

右何々(賣拂ヲ受クル目的ヲ記ス)ノ爲メ賣拂ノ義明治何年何月何日指令何第何號ヲ以テ許可ヲ得候ニ付テハ明治三十七年ハ宮崎縣令第四十四號官有土地、水面及產物處分規程及左記條項ハ總テ誠實ニ遵守可致候依テ請書差出候也

何郡何村大字何番地(寄留)

買受人 何

某 印

明治何年何月何日

全上

宮崎縣知事宛

保證人 何

某 印

記

一、契約保證金何程(本項ハ契約保證金ヲ即)

一、代金何程ノ内何圓ハ保證金ヲ以テ充當殘金何程ハ納入告知書ニヨリ何年何月何日迄納付

(本項ハ契約保證金ヲ即納シ後日)

一、物件搬出ハ代金拂込ノ日ヨリ何日間(隨時買受ニ付テハ必ス)

一、採收物件ハ年期滿了ノ日ヲ以テ搬出ヲ了スルモノトス(年期買受ノ場合記載例)

第二十二號書式

達書番號	達書交付年月日	件名	達書受領者氏名

右及報告候也

明治何年何月何日

何村長 何 郡 氏

名 印

宮崎縣知事宛

告示第三百三十號 (三十八年十月廿六日)

本縣山林特別處分例ニ依リ不渡ニ屬シタル國有林野内ニ特別部分林ノ設定ヲ出願セントスル者アルトキハ左ノ手續ニ依ルヘシ

特別部分林設定出願手續

第一條 特別部分林設定個所ハ所轄郡役所ノ指定シタル場所ニ就キ承合スヘシ
第二條 特別部分林ノ設定ハ左記ノモノニ限り出願スルコトヲ得

- 一 地元部落(大字小字ヲ包含ス)ノ人民
- 二 地元町村

地元部落ノ人民若クハ地元町村ハ相連合シテ出願ヲ爲スコトヲ得
地元部落ノ人民ヨリ出願スルトキハ其ノ過半數ノ同意ヲ得テ組合ヲ組織スヘシ

第三條 出願者ハ第一號書式ノ願書ヲ作成シ地元町村役場、所轄郡役所及縣廳ヲ經由シテ大林區署ニ差出スヘシ但シ部落人民ノ出願ニ係ルモノハ組合ノ規約書ヲ町村ノ出願ニ係ルモノハ其ノ決議書ヲ添付スヘシ

第四條 特別部分林設定契約書ハ第二號書式ニ據リ縣廳ヲ經由シテ大林區署ヘ差出スヘシ

第五條 特別部分林ノ收益分收ノ部合ハ五官五民トス

第六條 特別部分林ノ存續期間ハ契約設定ノ日ヨリ最長期拾年トス

第七條 前條ノ存續期間經過後ハ現在立木ニ付キ當然分收權ヲ失フモノトス

第八條 出願期間ハ本告示發布ノ日ヨリ一ヶ月間トス

第九條 特別部分林設定區域内ニ孕在スル官行造林、現在部分林及民植木ノ個所ハ出願區域外トス

第一號書式

特別部分林設定願

何國何郡何町大字何々國有林
字何々番(外何筆合計)反別何町步(土地産賦)(ノ内)
一見取面積何町步

樹種名 本數

、、、、
、、、、
、、、、
、、、、

(但地籍、面積、樹種名、本數内譯ハ別紙明細書ノ通)

(備考所轄郡役所ノ指定シタル場所ニアル設定調査表ニ依リ樹種名本數記載ノコト)

- 一 收益分収ノ部合五官五民
- 一 存續期間 自明治何年何月何日 何ケ年間(別紙明細書ノ通)
- 一 伐期明治何年(別紙明細書ノ通)
- 一 伐採回数登回
- 一 造林者ハ相續ノ場合ヲ除ク外權利ノ處分ヲ爲サ、ルコト但小部落ノ造林者ニシテ更ニ附近ノ他部落ト共同スル場合又ハ地元町村有ト爲ヌ場合ノ如キハ此限ニ非ラス
- 一 造林者カ其ノ部分林ニ對シ部分林規則第七條各項ニ該當スル保護ノ義務ヲ怠リタリト認メラレタル場合又ハ將來到底其ノ義務ヲ盡ス能ハサルモノト認メラレタル場合ハ設定許可ノ

第二號書式

鹿兒島大林區署長宛

部落人民ノ場合

印紙 參錢 特別部分林設定契約書

個所數全部又ハ幾部ノ部分林設定契約ヲ解除セララル、コトアル可シ但契約解除ノ時ヨリ分
收權ヲ喪失スルハ勿論現在樹木ノ全部ハ國ノ所有タルヘキコト

一 存續期間内ト雖モ伐木其ノ他ノ原因ニ依リ部分木實地ニ存在セサルニ到リタルトキハ部分
林契約ハ當然其ノ効力ヲ失フコト

一 存續期間經過後ハ何等ノ手續ヲ要セス分收權ヲ喪失シ現在樹木ノ全部ハ國ノ所有タル可キ
モノトス

一 本部分林區域内ニ點在スル民植木官植木ハ契約ノ外トス
右ハ前記ノ條項ニ依リ何(町)村(何組合誰外何人)へ部分林トシテ御認許相成度別紙見取圖(町)村會決議書(又ハ組合規約書)及契約書添付此段奉願候也

但契約月日ハ木願御指令當日ニ御決定被成下度候
明治 年 月 日 縣郡(町)村長 氏 名

(縣郡(町)村(大字)
何組合惣代人 氏 名)
(委任狀添付ヲ要ス)

告示第三百五十一號(三十九年十一月七日)

南那珂郡北郷村大字北河内

字先達七、五四四番

一部分林反別四町四反一畝步

杉立木千六百四本 部合五官五民

全郡酒谷村字小布施瀧ノ口三、七一三番ノ内

一部分林反別壹反八畝步

杉立木五拾五本 部合五官五民

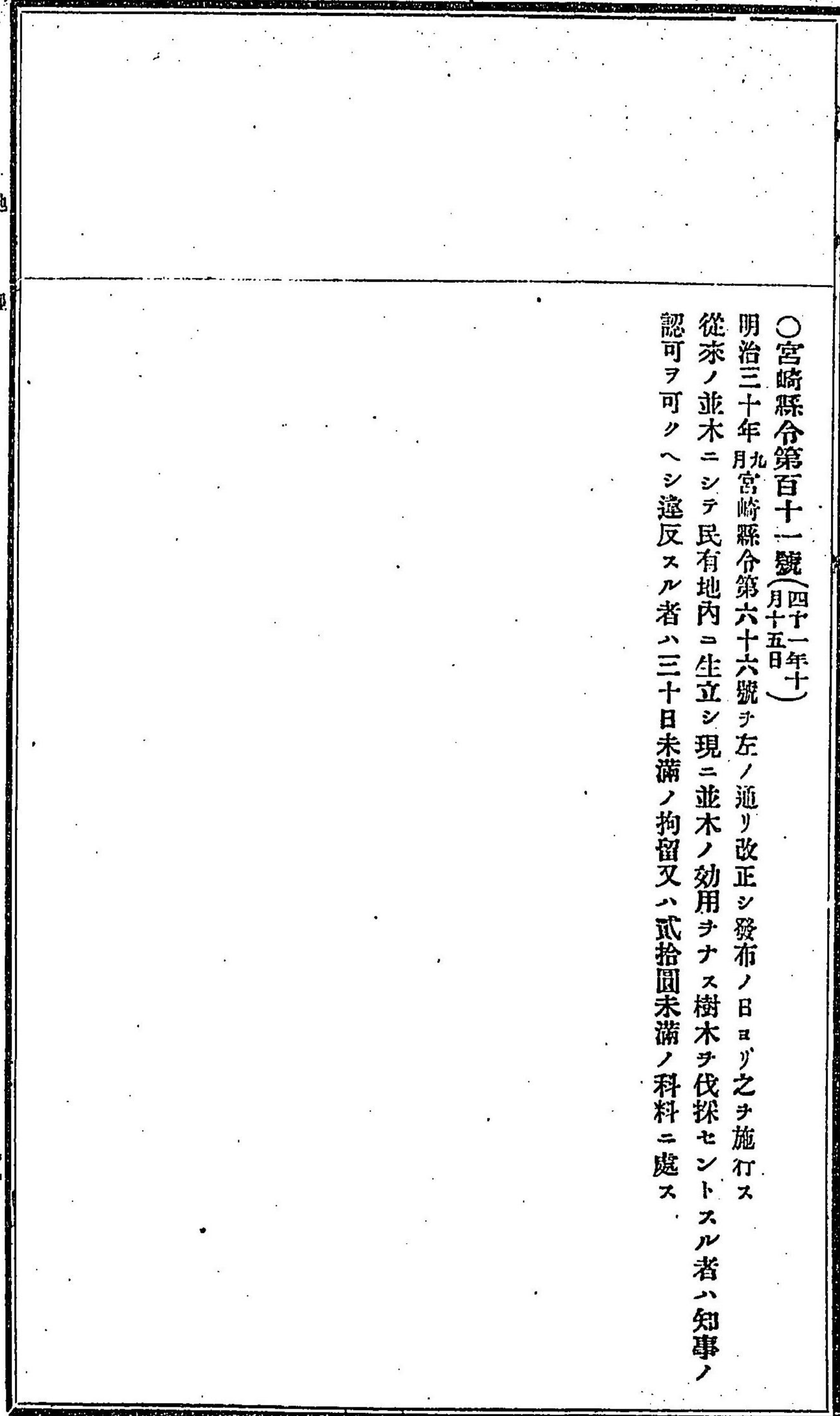
全郡全村字坂元上甲二、七九八番ノ内

一部分林反別七畝步

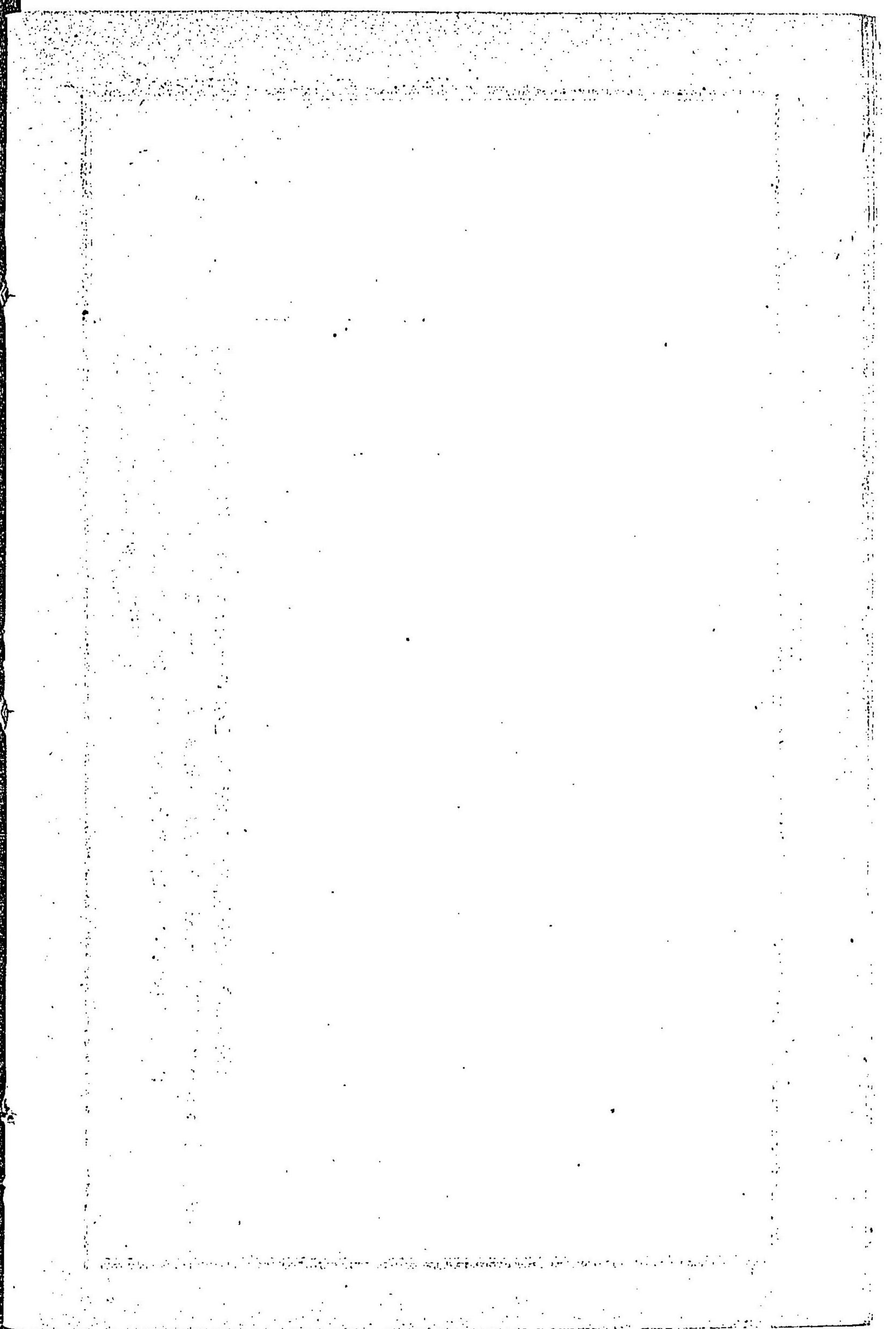
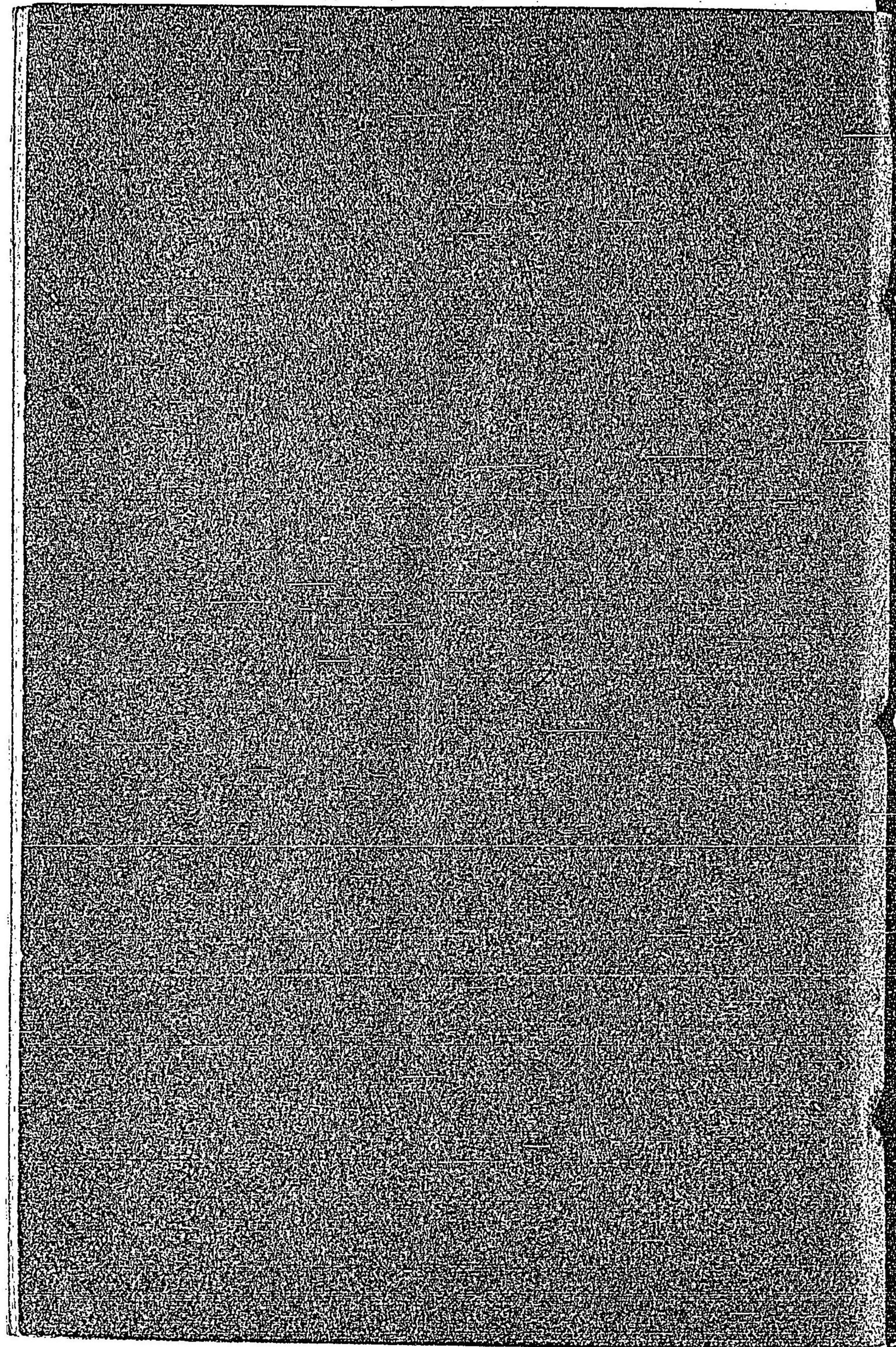
杉立木百四拾本 部合五官五民

右ハ南那珂郡飯肥町外九ヶ町村住民伊東祐弘外六千八百八拾名ヲ造林者ト認定シ鹿兒島大林區署ニ於テ部分林臺帳ニ登録可相成ニ付來ル三十九年十二月三十一日迄ニ造林者連署ノ上同署ニ就キ登録申請手續ヲ爲スヘシ若シ同期限迄ニ申請ノ手續ナキトキハ立木ハ公賣ノ上民收金ハ供託セラル、コトアルヘシ

追テ總代ヲ以テ申請スル場合ハ委任狀ヲ要ス



○宮崎縣令第百十一號(四十二年十月十五日)
明治三十年九月宮崎縣令第六十六號ヲ左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
從來ノ並木ニシテ民有地内ニ生立シ現ニ並木ノ効用ヲナス樹木ヲ伐採セントスル者ハ知事ノ
認可ヲ可クヘシ違反スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス



○明治二十三年四月訓令第
八十八號及同年八月訓令第
二百二十九號ニテ第十條及
第一號書式中改正

リ納付セシムヘシ

第九條 賣却物件ハ代金納付ノ後引渡スヘシ但第二條但書ノ物件ハ資力アル者代金納付ヲ保
證スルトキハ納付前其引渡ヲナスコトヲ得

第十條 物件取扱上ニ要シタル費用ハ直接債主ヘ交付スヘキニ依リ事由ヲ詳記シタル請求書
ヲ取立差出スヘシ

附 則

第十一條 明治二十三年三月三十一日迄ハ第七條第八條ノ順序ニ依ラス郡長若シハ町村長ニ
於テ直ニ現金ヲ領收シ第三號書式ニ準シタル仕譯書ヲ添ヘ翌月五日迄ニ町村長ハ郡長ヲ經
テ第二部長ヘ送付スヘシ
第一號書式

沒收品公賣報告書

品目	數量	公賣通達番 號並年月日	代 價	買受人住所姓名

右公賣執行候條及報告候也

年 月 日

第二部長宛

第三號書式

郡長或ハ町(村)長 氏 名 印

記

一金何程

是ハ沒收物品公賣代別紙仕譯書ノ通

右送納候也

年 月 日

第二部長宛

郡長或ハ町(村)長 氏 名 印

仕 譯 書

品目	數量	通達番號 (預書番號)	代 價	買受人氏名

右之通

郡役所

○訓令第六十八號(廿三年三月二十日)

明治二十三年度以降郡長管内旅費豫算取扱方左ノ通り之レヲ定ム

第一條 旅費ハ毎年度豫算ヲ定メ之ヲ達スヘシ

第二條 旅費ハ豫算ノ増額ヲ許サス但臨時ノ事故ニ因リ不足ヲ告クルトキハ事實ヲ具シ豫メ知事ノ裁可ヲ乞フヘシ

第三條 郡長ハ旅費ノ豫算支拂ヲ明瞭ナラシムル爲メ適宜帳簿ヲ設クヘシ

第四條 旅費ハ直接ニ本人ニ交付シ又ハ本人ヨリ直接ニ返納セシムヘキニ依リ之ヲ受取又ハ返納シタルキハ直ニ郡長ニ報告セシムヘシ
本人ヨリノ旅費請求又ハ精算書類ハ郡長ヲ經由セシムヘシ

○訓令第二百二十七號(廿三年四月十六日)

郡役所 町村役場

究民救助並棄兒養育米代(國庫支)請求並交付手續左ノ通り之ヲ定ム

一 究民救助並棄兒養育米代請求書ハ左ノ雛形ニ據リ豫メ所轄町村役場へ差出タサシメ該役場ハ郡役所ヲ經由シテ本縣第二部へ送付スヘシ

(雛形)

恤救米(又ハ棄兒養育米)代請求書

一下米何斗何升何合

但何年何月ヨリ何月迄(又ハ何月分)ノ分年額何石何斗(又ハ日額)ノ割

(一戸ニシテ數人ノ恤救ヲ受ク)
(ノ者ハ其内譯ヲ列記スヘシ)

右ニ對スル代金何町役場ニ於テ御下渡被下度(廳下近傍ノ地ニ住スル者ハ)此段奉願候也

何郡何町大字何

癡疾(又ハ疾病)何ノ誰印

年月日

知事宛

一 前項ニ依リ送金ヲ要スルトキハ會計主務官ヨリ規定ノ領收證用紙(本人へ送付)ヲ役場へ送付シ現金ハ別ニ金庫ヨリ正當受取人宛ヲ以テ役場へ送付セシムルニ依リ金員到達シタルトキハ本人ニ交付シ該領收證用紙ニ其年月日ヲ記入シ署名捺印シテ金庫ニ交付セシムヘシ但廳下近傍(廳下ヨリ一里未)ノ地ニ居住スル者へハ直ニ本縣第二部會計課ニ於テ交付スル者トス

○訓令第二百七十號(廿三年十一月七日)
明治十九年十月訓令第十三號諸貸付金取扱手續左ノ通改正ス

郡 役 所

諸貸付金取扱手續

- 第一條 諸貸付金ハ便宜臺帳ヲ設ケ整理スヘシ
- 第二條 左ニ掲クル諸件ハ其都度内務部ニ報告スヘシ
 - 一 負債者死亡若クハ退隱等ニ依リ相續人へ債務ノ移轉セントキ
 - 二 負債者死亡等ニ依リ絶家セントキ
 - 三 負債者他府縣へ轉居セントキ
 - 四 負債者失踪逃亡セントキ若クハ復歸セントキ
 - 五 負債者身代限ノ處分ヲ受ケントキ
- 第三條 負債者其債務ヲ他人へ移轉センコトヲ願出ラタルトキハ事由ヲ詳悉シ意見ヲ具シテ進達スヘシ
- 第四條 負債者管内他郡へ轉居セントキハ當初貸付ノ事由金額及返納スヘキ年月日若クハ据置ノ事由等ヲ詳記シ轉居先ナル郡役所へ引繼其都度届出ツヘシ其引繼ヲ受ケタル郡役所モ亦同シ
- 第五條 前條ニ掲クルモノ、外負債者他府縣ヨリ轉居其他ノ異動ハ其都度内務部ヨリ通知スヘシ
- 第六條 負債者中身代再興ノ上返納スヘキ約アルモノハ毎年三月三十一日ニ於ケル生活ノ現狀詳細取調四月五日限リ報告スヘシ但身代ヲ持直シ返納ノ資力アリト認メシトキハ其都度報告ノ手續ヲナスヘシ

○訓令第三百十三號(廿三年十二月十七日)
收入證明ニ關スル規程樣式等ハ直ニ會計検査院長ヨリ達セラル、義ト心得ヘシ
收入官吏

○宮崎縣令第一號(廿四年二)
明治二十三年四月四日
遞信省告示第六十八號
民有地ニ建設セル電信柱敷地手當金
甲年四月一日ヨリ乙年三月三十日マテ
請求書ハ町村長へ差出シ町村長ハ取纏ノ上
乙年四月當廳へ差出スヘシ但明治二十三年五月縣令
第四十三號ハ廢止ス

○訓令第二十八號(廿五年二月廿九日)

出納官吏

出納官吏現金出納簿ノ儀從來一人ニシテ數職ヲ兼タル者ハ各職務(收入、現金前渡、細)並ニ各主管(部、出納官吏ノ類)一人一冊ヲ備ヘ總テ之ニ記入整理スル儀ト心得ヘシ但現金出納簿ノ補助簿ヲ設ケ其職務並ニ主管廳ヲ區別整理スルハ妨ケナシ

○訓令第十六號(廿七年一月二十五日)
郡役所 町村役場
明治二十三年六月法律第四十四號全年全法律第四十五號明治二十四年十二月法律第四號ニ依リ扶
助料ヲ受クル者死没若クハ權利消滅シタルトキハ遺族若クハ本人又ハ後見人等ヨリ直ニ届出
シメ其轉給ヲ受クヘキ者ナキトキ及支給期限ノ滿チタル者ニシテ轉給ヲ受クヘキ者ナキ場合
ハ扶助料證書ヲ返納セシムヘシ

○訓令第四百十號(廿七年八月廿三日)

郡役所 町村役場

政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル漂流物公賣代金等取扱方左ノ通心得ヘシ但明治二十六年七月訓令第四百十二號ハ廢止ス

一町村長ニ於テ現金ヲ受領シタルトキハ第一號書式ノ上納證ヲ添付シ本廳出納官吏へ送付スヘシ

一町村長ハ權利者未定若クハ所在不分明ノモノ確定或ハ判明シ現金ノ拂戻ヲ要スルモノアルトキ若クハ權利ヲ拋棄シタルモノアルトキハ金額事由宿所氏名ヲ詳記シ本廳出納官吏ニ報告スヘシ

但權利ヲ拋棄シタル場合ハ本人ヨリ棄權書ヲ添付スヘシ

一本廳出納官吏ヨリ町村長へ向ケ拂渡證書ヲ送付シタルトキハ町村長ハ之ヲ權利者ニ交付シ

第二號書式ノ領收證書ヲ徴シ本廳出納官吏へ送付スヘシ

第一號書式

上納證

一金何程

但(漂着何品何程何年月何日何郡何町(村)何某拾得ノ分公賣代金ノ「三分ノ二」半額)

右七納候也

明治何年何月何日

町村長

氏

名印

本廳出納官吏

官氏名宛

第二號書式

領收證書

(用紙白半紙)

一金何程
但何々金

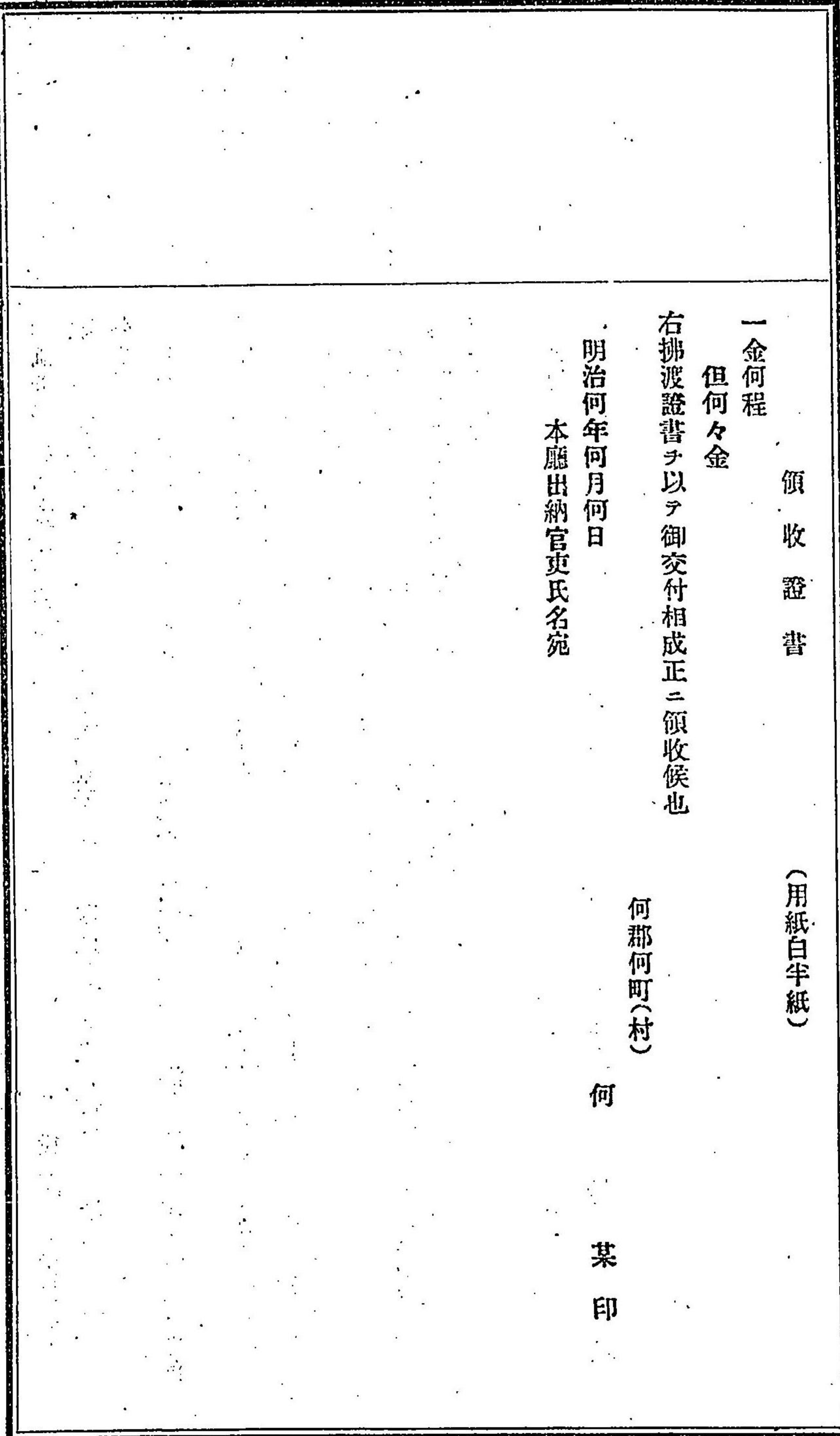
右拂渡證書ヲ以テ御交付相成正ニ領收候也

何郡何町(村)

明治何年何月何日

何 某 印

本廳出納官吏氏名宛



○訓令第三十四號(廿八年三月廿八日)

郡 被 所 町 村 役 場

明治二十三年四月訓令第三百二十五號徵兵海軍志願兵六週間現役旅費交付手續左ノ通改正ス

第一條 徵兵検査諸費並新兵海軍志願兵六週間現役旅費交付手續

丁旅費ニ係ル分ハ町村長ニ於テ第一號書式ノ明細書ヲ調製シ該官吏ニ差出シ第二號書式ノ正當領收證書ヲ以テ現金ヲ受取ラシムヘシ

第二號 新兵海軍志願兵六週間現役兵ノ入營旅費ハ郡長ヘ現金前渡ヲナシ其仕拂ヲナシムルモノトス但時宜ニヨリ直ニ本人ニ交付スルコトアルヘシ

第三條 郡長ハ第一條第二條ニヨリ現金前渡ヲ受ケ仕拂ヲ完了シタルトキハ第三號書式ノ精算書ヲ調製シ二日以内ニ仕拂命令官ヘ送付スヘシ

第四條 第二條但書ニヨリ直ニ本人ヘ旅費ヲ交付スルルハ金庫ヨリ送金セシメ仕拂命令官ヨリ金額仕拂命令番號金庫名等ヲ記入シタル通知書ヲ郡長ヘ送付スルニヨリ郡長ハ之ヲ本人ヘ下渡シ現金ノ回付ヲ受ケタル片裏面ニ年月日ヲ記入シ署名捺印シ金庫ヘ送付セシムヘシ

第一號書式

檢丁旅費明細書

(用紙半紙野紙)

一金何程

證書何通

内 譯

摘要	里程	金員	居町村	姓
何月何日何々徵兵署 着何日同署發歸町村	何里	何程	何町村大字何々	檢 丁 何 ノ 誰

全	全	全	全	檢丁某保護人 何ノ誰
---	---	---	---	---------------

右ノ通相違無之候也

何那何町村長印

明治 年 月 日
現金前渡ヲ受ケタル官吏宛
第二號書式

(用紙白半紙)

領 收 證

一金何程
但町村大字何々發何月何日何々徴兵署ニ至リ何日全署發歸町村里程何里分
右正ニ領收候也

何那何町村大字何々
檢 丁 何 ノ 誰 印

明治 年 月 日
現金前渡ヲ受ケタル官吏宛

備考 金額ノ同シキモノハ連名ノ證書ヲ差出スモ妨ケナシ此場合ニ於テハ一金ニ總額ヲ揭
ケ「何里分」ノ下ニ「ツ、一名ニ付金何拾何錢」ト記載スヘシ
第三號書式
府縣徴兵費精算書
(用紙半紙罫紙)
前 受 高

一金何程
內
爲事員手當

金何程 備 人 料
金何程 檢丁及新兵旅費
金何程 雜 費
一金何程 精 算 高

內
金何程 參事員手當
金何程 備 人 料
金何程 檢丁及新兵旅費
金何程 雜 費
一金何程 要 返 納 高

內
金何程 參事員手當
金何程 檢丁及新兵旅費
右ノ通ニ候也

明治 年 月 日
仕拂命令官
宮崎縣知事宛
現金前渡ヲ受ケタル官吏
官 氏 名 印

○訓令第九十四號(廿八年十一月九日)

出納官吏

明治二十五年三月訓令第四十一號左ノ通更正ス
出納官吏交替ノ際事務引繼ヲナシタル年月日ハ前任後任連署ヲ以テ其都度届出ヘシ但後任者
就職ノ日ト事務引繼ヲ了シタル日ト異ナルトキハ孰レモ届出ル儀ト心得ヘシ

○明治四十一年七月七日訓令第二十號ニテ第二、三條へ追加

○訓令第五十一號(二十九年五月二十一日)

郡 役 所

聯隊區徵兵署ニ屬スル備品取扱方左ノ通定ム但二十三年訓令第五十四號ハ廢止ス

第一條 聯隊區徵兵署ニ屬スル備品ハ郡役所ニ於テ保管スルシ

第二條 郡役所ニ於テハ物品取扱主任者ヲ定メ置キ備品現在簿(様式適宜)ヲ設ケ之カ出納一切ヲ取扱其責ニ任セシムヘシ

前項物品取扱主任ヲ定メタルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ但シ物品取扱主任交替ノ場合ニ於テハ前任者ト後任者ト連署シテ物品ノ受渡ヲ了シタルコトヲ記載セル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第三條 備品ノ新調若クハ修繕ヲ要スルトキハ代價見積書ヲ添へ請求スヘシ
前項新調ニ係ル物品ヲ受入レタルトキハ別紙書式ノ報告書ヲ差出スヘシ

備品保管報告書

郡長印	品 目	數 量	單 價	價 代	價 受入ノ日付	購 入 先

右報告ス

年 月 日

何郡役所物品取扱主任

官 氏

名 印

物品會計官吏宛

第四條 備品ヲ受入レ又ハ不用ニ屬セシトキハ取扱主任者ヨリノ領收證若クハ返納證ヲ送付

スヘシ但不用ニ屬セシ現品ハ内務部長ヨリ處分方通牒スル迄其儘保管スヘシ

第五條 備品ヲ亡失毀損セシトキハ左ノ書類ヲ添ヘ報告スヘシ

一故意怠惰ニ由レル者ト思料シタルトハ其顛末ヲ詳記セル取調書及相當價格(毀損ハ其ノ毀損部分ニ對スル分)

調書

二故意怠惰ニアラサルモノト思料シタルトキハ取扱主任者ノ證明書

第六條 故意怠惰ニ由リ亡失毀損シタルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第七條 保管ノ爲メ置場料ヲ要スルトキハ豫メ認可ヲ受クヘシ

第八條 前條置場料ハ一ケ年度分取纏メ直接債主ヘ交付スヘキニヨリ翌年度十五日迄ニ請求

書ヲ取立差出スヘシ

附 則

第九條 廿三年三月訓令第五十四號ニヨリ置場料認可濟ノ分ハ此際更ニ第七條ノ手續ヲ要セス

○訓令第三十三號(三十三年四月十五日)

警察署 警察分署

明治三十三年度以降國稅外歲入ニ係ル罰金及科料沒收金ノ收納事務ヲ其署長ニ委任ス明治二十三年四月訓令第三百三號ハ明治三十二年度限り廢止ス

○訓令第八號(三十五年一月二十五日) 警察署 警察分署
國稅外歳入ニ係ル歳入臨時部官有物拂下代物品拂下代ノ收納事務ヲ其署長ニ分任ス

納付額 俸給支給額 事由 官氏名		何月分俸給 郡書記 何 某	
		何年何月何日何圓ヨ 郡書記 何 某	
右及送付候也 年月日		何々ニヨリ日割何日 郡視學 何 某	
何郡役所分任仕拂命令者 官氏名		何郡役所 郡書記 何 某	

○訓令第三十一號(三十五年三月二十九日)
 明治三十四年五月訓令第四十五號官吏遺族扶助法ニ依リ郡判任官ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ニ對シ俸給仕拂並納入手續左ノ通改正シ明治卅五年四月ヨリ施行ス
 一郡判任官各自ニ對シテハ國庫ニ納ムヘキ金員ヲ差引ケル殘額ニ就キ仕拂命令ヲ發付スヘシ
 二前項ノ差引額ハ本廳主任收入官吏ニ對シ仕拂命令ヲ發付シ左記書式ノ納金額表ヲ添ヘ送納スヘシ
 (書式)
 納金額表
 一金何程
 但何年何月分國庫納金
 內譯

主任收入官吏宛

備考

俸給支給額ノ欄ニハ其月ノ俸給支給全額(納付額ヲ控除セサルモノ)ヲ掲ケ事由ノ欄ニハ俸給支給額ノ産出基礎ヲ詳記スルモノトス

Table with 2 columns: 主任收入官吏宛 (Principal Income for Officials) and 備考 (Remarks). The table is mostly empty, with only the header and a detailed note in the second column.

縣立學校

○訓令第三十二號(三十五年三月二十九日)

明治三十四年五月訓令第四十六號府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法

ニ依リ職員ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ニ對シ俸給仕拂並納入手續左ノ通改正シ明治三十五年四月ヨリ施行ス

一職員各自ニ對シテハ國庫ニ納ムヘキ金員ヲ差引タル殘額ニ就キ仕拂命令ヲ發付スヘシ

二前項ノ差引額ハ本廳主任收入官吏ニ對シ仕拂命令ヲ發付シ左記書式ノ納金額表ヲ添ヘ送納スヘシ

(書式)
納金額表
一金何程
但何年何月分國庫納金

內譯

Table with 5 columns: 納付額 (Payment Amount), 俸給支給額 (Salary Payment Amount), 事由 (Reason), 職氏名 (Position and Name), and 何學校分任仕拂命令書 (Which school division appointment order). The table contains three rows of data for school principals.

右及送納候也

何學校分任仕拂命令書

俸給支給額ノ欄ニハ其月ノ俸給支給全額(納付額ヲ控除セサルモノ)ヲ掲ケ事由ノ欄ニハ俸給支給額ノ算出基礎ヲ詳記スルモノトス

四〇

三十六年一月二十七日訓令
第十號ニテ第八條ヲ改ム

○訓令第四十六號(三十五年四月三十日)
政府ノ保管ニ屬スル物品會計規則左ノ通相定ム
但様式ハ別ニ頒ツ

警察署 警察分署

政府ノ保管ニ屬スル物品會計規則
第一章 總 則

- 第一條 本則ニ於テ物品ト稱スルハ政府ノ保管ニ屬スル拾得物、埋藏物、徵收物、沒收品、犯罪者置去品、犯罪證據品、留置人携帶品等ヲ云フ
- 第二條 物品ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第三條 物品ノ會計ハ現ニ其出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ
- 第四條 物品ノ價格ハ見積價格ニ依リ整理スヘシ但特ニ其方法ノ規定アルモノハ此限リニアラス
- 第五條 物品出納ノ命令ハ署長之ヲ發スルモノトス
- 第六條 物品ヲ保管シ之レカ出納ヲ掌ルモノヲ物品會計官吏トス
前項ノ官吏ハ次席警部ヲ以テ之ニ充ツ但次席警部ナキトキハ上席巡查部長トス
- 第七條 物品會計官吏交迭ノトキハ前任官吏ニ於テ現在品ノ目錄ヲ調製シ帳簿及關係書類ヲ添ヘ五日以内後任官吏ニ引繼クヘシ但前任官吏死亡其他ノ事故ニ由リ自身引繼ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ知事ハ他ノ官吏ニ命シテ引繼ヲ爲サシムルモノトス
- 第八條 知事ハ検査員ヲ命シ物品並帳簿書類ノ検査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二章 出納、帳簿

國庫會計

四一

第九條 物品ノ出納ハ其命令アルニ非サレハ之ヲ執行スルコトヲ得ス

第十條 物品ノ出納ヲ整理スル爲メ第一號様式ノ帳簿ヲ設ケ出納ノ都度之ヲ登記スヘシ

第三章 保管、責任

第十一條 物品會計官吏ハ故意若クハ怠惰ニ由リ其保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ

第十二條 直接ニ保管ノ責ナキ者ト雖故意若クハ怠惰ニ由リ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ仍前條ニ依ル

第四章 決算證明

第十三條 物品會計官吏ハ其取扱ニ係ル物品出納ノ検査判決ヲ受クル爲メ一ケ年度毎ニ第二號様式ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度五月卅一日迄ニ知事ニ差出スヘシ

物品會計官吏交迭ノトキハ前任官吏若クハ第七條第一項但書ニ依リ引繼ヲ命セラレタル官吏ニ於テ前項ニ準シ計算書ヲ調製シ六十日以内ニ差出スヘシ

第十四條 第七條第一項但書ニヨリ引繼ヲ命セラレタル官吏ノ調製シタル計算書ハ物品會計官吏ノ自身ニ調製シタルモノト見做シ検査判決ヲナスモノトス

第十五條 物品出納證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一 受入ニ對シテハ命令書又ハ決議書

二 拂出ニ對シテハ領收證書又ハ證明書

第十六條 前條ノ證憑書類ハ受拂毎ニ別冊トナシ計算書ニ掲グル品目毎ニ順次區分編纂シ其表紙ニ品目數量及枚數ヲ記載スヘシ

證憑書類中數種ノ品目混合セルモノアルトキハ別冊ニ編纂シ其表紙ニ品目數量及枚數ヲ記

載スヘシ

第五章 附 則

第十七條 物品取扱ノ細則ヲ設クルノ必要アルトキハ其署ニ於テ之ヲ定メ知事ニ報告スヘシ其改正追加ヲナシタルトキ亦全シ

第十八條 本則ハ明治三十五年四月分ヨリ施行ス
本則ニ抵觸スル令達ハ廢止ス

合 計	往 所 氏 名	沒 收 金	計	何 々	住 所 氏 名	罰 金 及 料	懲 罰 及 沒 收 金	雜 收 入	歲 入 經 常 部	摘 要			
										納 期	日	金 額	備 考
	何々				何年何月何日								
、	、		、	、	、								
、	、		、	、	、								
、	、		、	、	、								
	全			全	何々ノ理由ニ依リ收入未了								

(訓令第六十八號(三十五年八月十二日))
 警察署 警察分署
 租税外歳入調定濟額ニシテ翌年度七月三十一日迄ニ收入未滿ノモノアルトキハ別紙書式ニヨ
 リ明細書ヲ調製シ其年八月十五日迄ニ差出スヘシ但本令ハ明明三十四年度分ヨリ施行ス
 明治何年度收入未濟額明細書

○訓令第七十二號(三十六年十二月二十三日)

警察署 警察分署

明治三十三年四月訓令第三十五號國稅外諸收入收納取扱細則左ノ通改正ス

國稅外諸收入收納取扱細則

第一條 警察署長分署長ニ於テ諸收入ヲ徵收セントスルトキハ分任收入官吏ヲシテ現金ヲ收納セシムヘシ

第二條 警察署長分署長ニ於テ分任收入官吏ヨリ現金領收濟報告書ヲ受ケタルトキハ縣廳ヨリ送付シアル歳入徵收簿調定濟額並ニ收入濟額ノ欄ニ記帳スヘシ

第三條 警察署長分署長ハ歳入徵收簿ニ據リ毎月徵收報告書(第一號)ヲ調製シ金庫領收濟通知書ヲ添ヘ翌月三日迄ニ知事ヘ差出スヘシ但異動ナキトキハ其旨同期日迄ニ報告スヘシ

第四條 分任收入官吏ハ第二號書式ノ現金拂込仕譯書ヲ調製シ金庫領收證書ヲ添ヘ其署長ヲ經テ主任收入官吏ニ送付スヘシ

第五條 前二條ノ報告書ハ歳入經常部歳入臨時部毎ニ各別ニ調製スヘシ
(第一號書式) (用紙半紙)

明治何年度歳入經常部(臨時部)

何年何月分國稅外諸收入徵收報告書

科 目	調 定 濟 額		收 入 濟 額	
	前月迄累計	本月分	前月迄累計	本月分
罰金及科料				
沒收金				

合 計	(臨時部ノ科目)			
	物品拂下代			

右報告候也
明治何年何月何日

某警察署(分署)分任歳入徴收官

官 氏 名

知事宛

(第二號書式) (用紙半紙)

明治何年度歳入經常部(臨時部)

何年何月分現金拂込仕譯書

所 屬 年 度	前月拂込未済額	本月領收高	本月拂込高	差引翌月越高
何 年 度 歳 入				
計				

右報告候也

明治何年何月何日

某警察署(分署)分任歳入官吏

官 氏 名

主任收入官吏宛

○訓令第九號(三十九年三月十三日)

警 察 署 警察分署

警察署警察分署ニ分任收入官吏、歳入歳出外現金出納官吏一名ヲ置キ國稅外諸收入並歳入歳

出外ノ現金出納ヲ取扱ハシム

前項ノ官吏ハ次席警部トシ次席警部ナキ署ニ在リテハ署長トス